

長 薬 同 窓 会 報

Alumni Association

*School of Pharmaceutical Sciences*

*Nagasaki University*

第 57 号 (2017年)

# 目 次

同窓会長挨拶……………山中 國暉（昭43）……………	1
薬学部長挨拶……………黒田 直敬……………	2
平成29年度長薬同窓会定期総会・講演会・懇親会……………	3
平成30年度長薬同窓会定期総会のご案内……………	4
支部だより……………	5
関東支部，近畿支部，広島支部，福岡支部浦陵会，大分支部，熊本支部，佐賀支部若楠会，長崎県北支部， 長崎県央支部，長崎支部ぐびろ会	
クラス会および近況だより……………	17
白石葉子（昭32），西脇金一郎（昭33），田崎三郎（昭34），味田和子（昭36），白松一良（昭36） 幹事一同（昭37），松村祐子（昭40），高松 薫（昭42），松尾 泉（昭46），同窓会幹事一同（昭49） 平田厚司（昭51），高田充隆（昭52），青野拓郎（昭52），山口正広（昭56），高良真也（昭57） 宇佐美めぐみ（昭60），塩田英雄・山口綾子（昭60），梶島 力（平4），小嶋健一郎（平5） 梅北修一（平11），稲嶺達夫（平18），小嶺敬太（平24），原口綾奈（平25），林田颯志（平28） 片山史博・丸山洋子・大園侑花（平28修2・平28修2・平29修1）川口真帆・平井真智子（平29修1・学部5年） 千賀健司（学部4年），岡見和哉（学部3年），岡見和哉（学部3年），坂井俊文（学部1年），鶴丸雅子（平5）	
クラブOB会だより……………	48
野球部，硬式庭球部，バスケットボール部	
庶務報告……………	52
物故者氏名……………	52
寄附のご案内……………	53
学内記事……………	55
長薬同窓会役員名簿……………	57
長薬同窓会支部一覧……………	58
会計報告（平成28年度決算，監査報告，平成29年度予算）……………	59
同窓会事務局だより	
編集後記	



## ご挨拶

会長 山中 國暉 (昭43)

昨年日本列島は、台風や豪雨など種々の大きな災害に見舞われ、全国各地で被害が続出しております。会員の皆様におかれましてはいかがだったでしょうか。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。平成29年度の長薬同窓会総会は、去る6月10日に長崎市のホテルニュー長崎にて開催し、長崎支部ぐびろ会のご協力の下、盛会のうちに無事終了いたしました。出席者は82名であり、長崎の立地を生かし現役の学部学生にも参加いただいた結果、例年以上に若手会員の参加が目立ち、旧交を深めるだけでなく新たな繋がりも生まれる素晴らしい機会となりました。平成30年度は関東支部のご協力で、6月2日に東京都の市ヶ谷駅近くにあるアルカディア市ヶ谷私学会館にて開催予定です。普段、九州まで出ていくのはなかなか難しいと思っていられる関東周辺に在住の皆様は是非ともこの機会にご参加いただければと思っております。

さて、同窓会本部の役員人事についてご報告させていただきます。会計幹事として本同窓会に貢献されてきた椛島 力先生(平4)が長崎国際大学薬学部製剤学研究室の教授として就任されることになり、本年3月に長崎大学をご退職されました。そこで椛島先生の後任人事として、本年4月より松尾洋介幹事(平15)に会計幹事、新たに長大病院薬剤部鶴丸雅子先生(平5)に幹事として就任頂きました。新たな役員体制におきましても今まで以上に長薬同窓会の発展を目指し尽力させていただく所存でございます。

長薬同窓会の事業内容についてご報告させて

いただきます。まず、8月6日(日)に坂本キャンパス内にあるグビロが丘の原爆慰霊碑周辺の清掃作業を行いました。ご協力頂いた、同窓会有志および準会員(学部生)の皆様に感謝申し上げます。また、8月9日に医学部主催の原爆犠牲者慰霊祭への参加、11月5日(日)には小野島校舎跡記念碑の清掃を行いました。また、会員より長薬同窓会に対し直接、寄附を行いたいとお声をいただきました。そこで、平成28年度の役員会・理事会にて審議を行い総会での承認を得て、長薬同窓会への寄附規定を設けました。寄附のお礼として、1口につき長崎大学薬学部の発端となった「第五高等学校の校章入り白衣」を1着贈呈させていただきます。同窓会報や長薬同窓会HPで申し込み手続き方法を掲載しております。ご寄附につきましては、長薬同窓会の運営に活用させていただきますので、ご協力の程、よろしく願いいたします。

この原稿を執筆している最中に長崎市立仁田佐古小学校の新校舎建設予定地において、小島養生所に併設されていた「分析窮理所」の遺構が見つかったとの連絡がございました。この分析窮理所は長崎大学薬学部の起源ともされており、長薬同窓会としても遺構の調査や保存・活用を希望し、分析窮理所遺構の調査、保存、活用についての要望書を10月25日に田上長崎市長宛に提出させていただきました。保存や活用に関しては解決すべき問題が山積しておりますが、長崎大学薬学部の起源でもありますので長薬同窓会としてできる限りの活動を行っていく予定ですので、会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



## 長薬同窓会の皆様へ

長崎大学薬学部長 黒田 直敬

長薬同窓会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、常日頃より同窓会の皆様方には、長崎大学薬学部に格別のご支援いただいておりますこと心より御礼申し上げます。

本年4月より、引き続き薬学部長を拝命いたしました。まず、この機会をお借りしまして、長崎大学薬学部創立125周年記念事業寄附金の使用に関しまして、グローバル人材育成目的での使用をお認めいただいたことに感謝いたします。おかげさまをもちまして、本寄附金の一部支援を得て、9月5日から16日にかけて、薬学科学生2名を台北医学大学主催の「Short-term Visiting Pharmacy Training at School of Pharmacy, Taipei Medical University」に参加させることができました。さらに、9月11日から10日間、本学出身の岸川准教授（平10）の引率のもと3名の博士前期課程学生をタイのチュラロンコン大学薬学部に派遣することができました。この派遣は、海外留学支援制度（協定派遣）に申請した「天然薬用資源に基づく創薬研究・教育のための学術交流プログラム」の採択に基づくものです。いずれも短い派遣期間ではありますが、学生も楽しみつつ大きな刺激を得て帰国した模様です。これらにつきましては、別の機会を設けて報告させていただきたいと思えます。また、今年も長薬同窓会皆様方のご厚意により、9月28日に1年生を対象とした白衣授与式を開催させていただきました。特製の白衣を贈呈くださいました長薬同窓会に御礼申し上げますとともに、引き続き学部運営に関しましては、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

ここで、少し、人事異動の近況について報告させていただきます。まず、昨年12月に薬学部に新たに設置しました育薬研究教育センターに西内弥生助教（平8）が専任として採用され、薬剤師の育成に励んでおられます。本年に入ってから、3月をもちまして機能性分子化学研究室の甲斐雅亮教授と感染分子薬学研究室の小林信之教授が定年を迎えられ、ご退職となりました。時を同じくして機能性

分子化学研究室の梶島 力准教授（平4）が、長崎国際大学薬学部の製剤学研究室の教授に栄転されました。一方、昨年の畑山 範教授のご退職に伴い、教授不在となっております薬品製造化学研究室には、同研究室を一人で切り盛りされていた石原 淳准教授が4月からめでたく教授に昇任されました。同研究室では、さらに来年早々にも新しい准教授が赴任の予定です。その他、医薬品合成化学研究室にも、3月付で山本耕介助教が赴任してまいりました。

国家試験の合格状況と就職状況についても紹介させていただきます。まず、第102回の国家試験結果に関しまして、薬学科新卒者合格率は93.94%と全国平均85.06%を大きく上回る水準となりました。一方、既卒者や旧4年制卒業者等を含む総数での合格率は83.93%で、こちらも全国平均の71.58%を上回る合格率となりました。今後とも引き続き、本学ご出身の川上 茂教授（平7）が中心となって、合格率向上に向けて精力的な指導を行っていく予定です。ご理解のほどお願いいたします。

就職状況についてご紹介させていただきますと、薬学科・薬科学科の卒業生77名のうち、主だったところでは、24名が病院・調剤薬局に、2名が公務員、9名が製薬関連企業に就職し、また、34名が本学博士前期課程に進学しております。

以上、長崎大学薬学部の近況を簡単に紹介させて頂きましたが、現在、この原稿を書いている最中に、長崎市立仁田佐古小学校の新校舎建設予定地に見つかった「小島養生所」跡地に併設されていた「分析究理所」の遺構も見つかったという連絡を受けております。当時の言葉で、分析は化学を、究理は物理を表しており、この1864年に設立された「分析究理所」が長崎大学薬学部の起源ともされています。この発見は長崎のみならず、日本の薬学史にとっても重要な意味を持つものであり、この遺構の保存・調査・整備が強く望まれます。

以上、末筆になりましたが、長薬同窓会の今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。



# 平成29年度長薬同窓会 定期総会・講演会・懇親会

本年度は長崎支部ぐびろ会（中嶋誠一会長）のお世話で、平成29年6月10日（土）にホテルニュー長崎で開催されました。82名の同窓会会員のご参加により、無事終了いたしました。

総会に引き続き、佐々木 均教授による講演会が開催され、その後の懇親会も盛会裏に終わりました。その模様を一部紹介いたします。

## 平成29年度長薬同窓会総会



総会



総会



講演会



長崎支部ぐびろ会長挨拶



薬学部長挨拶



懇親会



懇親会



懇親会



懇親会



懇親会



懇親会



懇親会

## 平成30年度長薬同窓会定期総会のご案内

日時 平成30年6月2日(土) 16:00～総会 17:00～講演会 18:00～懇親会(予定)

場所 アルカディア市ヶ谷(私学会館)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

TEL 03-3261-9921

平成30年度総会は9年ぶりに東京で開催いたします。万障お繰り合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

# 支部だより

## ●● 関東支部 ●●

支部長 原 正朝 (昭60)

関東支部総会を10月14日土曜日午後、東京駅に程近い東京スクエアガーデンのフレンチレストラン「レ ロジェ ビストロ ド ロア」で開催しました。昨年、一昨年と支部総会は、加藤恵介幹事長 (昭62) の勤務先である東邦大学薬学部習志野キャンパスで開催していましたが、同窓生が集まりやすく、気軽に楽しむことができる同窓会を基本方針として、開催場所と内容を変更しました。参加者数は、昭和の卒業生23人、平成の卒業生30人の計53人と今年の倍以上の同窓生が参加してくれました。同窓会本部からは、中嶋幹郎教授 (副会長・昭57) と川上 茂教授 (編集幹事・平7) のお二人が参加され、出水庸介さん (医歯薬学総合研究科非常勤講師、元薬学部助教、現国立医薬品食品衛生研究所 有機化学部 部長) にもご出席いただきました。病氣療養中であつた小川浩司さん (平2) も車椅子で元気な姿を見せてくれました。

総会は加藤幹事長の司会により進められ、物故会員3人への黙祷の後、中嶋教授の挨拶、川上教授からの薬学部のトピックスに関する報告がありました。懇親会は、卒業年次ごとに割り振りをした席順で近況報告などの歓談の後、豪華賞品をかけてのクイズ大会とじゃんけん大会で盛り上がりました。クイズは、長崎ジゲモネアと題して、幹事が厳選した長崎と薬学部にちなんだ問題です。参加者は、最年長の黒岩幸雄さん (昭30) から、最年少の山元広平さん (平26) をシャッフルして、世代間の交流ができるようにチーム編成しました。クイズ大会の司会進行は、宇佐昌芳幹事 (平7) と服部芳野幹事 (平23) です。

まずは、ウォーミングアップのクイズ第1問です。第1問は予定通り全チーム正解でしたので割愛して、第2問。長崎といえば坂の街、そして世間はいま、選挙ムード一色です。ということで、ここで政治と坂にまつわるクイズを一問。ある政治家が、「人生には3つの坂がある。」として、続けて以下のように語ったのをご記憶の方も多いでしょう。「のぼり坂、くだり坂、そして“まさか”」これはある“想定外”の事実に対して出たことばですが、それはどのような政治状況を評したものであったのでしょうか？

A：第1回日朝首脳会談後の拉致被害者、まさかの帰還 B：第2次小泉内閣郵政解散の、まさかの圧勝 C：小池環境大臣のクールビズの、まさかの浸透 D：第1次安倍内閣の、まさかの退陣

続いて第3問、2017年のノーベル文学賞に、日系イギリス人作家のイシグロ・カズオ氏 (62) が選出されました。1954年に長崎で生まれたイシグロ氏は5歳のときに家族で渡英、1983年に英国籍を取得しました。ではカズオ・イシグロさんが日本で使用していた漢字は以下の内どれでしょうか？

A：石黒 一雄 B：石黒 和雄 C：石黒 和夫 D：石黒 数夫

時事ネタの後は、34年前の問題、第4問。昭和58 (1983) 年11月10日当時、人気のTV番組「ザ・ベストテン」の300回記念番組が長崎から全国に生放送されましたが、このとき1位になった歌手と歌は何でしょうか？

A：アルフィー「メリーアン」 B：杏里「CATS EYE」 C：さだまさし「あまやどり」 D：松任谷由実「ルージュの伝言」

第5問は、長葉の伝統に関する問題、「流星落ちて住むところ…」で始まる“巻頭言”を多くの皆さんご存知と思いますが、実はもう一つ、昭和24年卒の吉田俊之さんが詠まれた、長葉オリジナルの巻頭言が存在することを、皆さんご存知でしょうか？通称、“寮祭巻頭言”のその一節に、以下のようなフレーズがあります。「朝に秀峯 (ア) を仰ぎ、夕に有明湾頭 (イ) の発する所」当時のキャンパスから見渡せたか？どうかはわかりませんが、学び舎の立地が、壮大なスケールで表現されています。さて、正しい組み合わせはどれでしょうか？

A【ア：雲仙、イ：不知火】 B【ア：英彦山、イ：不知火】 C【ア：雲仙、イ：漁火】 D【ア：英彦山、イ：漁火】

最終問題第6問は、合宿研修、通称「山」に関する問題です。昭和46年 (1971年) 当時、学園紛争の影響により学生と教職員の間に根強い相互の不信感が残っていました。このため、薬学部教授会は、学部内の「人間的な触れあい」を持つことを最大の目的として、合宿研修を導入しました。合宿研修はその目的を達成したため、平成7年に終了しましたが、昭和46年の第1回合宿研修が行われた場所はどこでしょうか？

A：大分県別府市志高湖 B：宮崎県えびの市えびの高原 C：長崎県佐世保市烏帽子岳 D：大分県久住町くじゅう高原

各世代が一丸となって、意見交換しながら、クイズに挑戦しました。平成卒業の同窓生にとっては、生まれる前の問題もあり、各チームでのコミュニケーションも深まったのではないのでしょうか。正解数が多かったチームから表彰し長崎にちなんだ賞品をお渡ししました。賞品は、東京日本橋にある、長崎県のアンテナショップ「日本橋長崎館」で調達した、みろく屋ちゃんぽん、皿うどん



ん、九十九島せんべい、茂木びわゼリー、五島ワイン、焼酎軍艦島、よりより、丸ぼうろです。

各チーム対抗のじゃんけん大会は、谷 覺さん(昭42)の優勝で幕を閉じました。盛り上がりの中で、予定の3時間はすぐに経過し、最後に山崎裕太郎さん(平27)と森蘭文恵さん(平27)の閉会の挨拶と一本締めで終了しました。来年は6月2日土曜日に長薬同窓会総会を、市ヶ谷駅より徒歩2分のアルカディア市ヶ谷私学会館で

開催します。東京での総会は平成21年以来の開催です。多くの同窓生のご参加をお待ちしております。

※正解 問題2 D 問題3 A 長崎市新中川町出身 問題4 B 長大祭のゲストでした 問題5 A 問題6 C 正解発表と合わせて、出題者から提供された、各問題にちなんだ懐かしい写真を見ることができました。誌面でお見せできないのが残念です。

参加者

中嶋 幹郎 (昭57)	川上 茂 (平7)	高橋 久美 (平1)	船戸 恵子 (平1)
出水 庸介 (特)	黒岩 幸雄 (昭30)	武藤智恵子 (平1)	森尾 初美 (平1)
小島 恵子 (昭33)	松尾 一誠 (昭35)	四本由美子 (平1)	山崎 幸雄 (平1)
白松 一良 (昭36)	樋口 宗司 (昭42)	小川 浩司 (平2)	小川 あや (平2)
谷 覺 (昭42)	渡辺 熙 (昭42)	川口 和美 (平2)	川口 晋紀 (平2)
藤本 正治 (昭42)	西村 正邦 (昭44)	森川 慎也 (平2)	森川かおる (平2)
渡部クリ子 (昭48)	梶村 博 (昭50)	杉浦 志保 (平3)	松下 陽子 (平3)
松尾登喜子 (昭50)	吉岡 優子 (昭56)	伊東 尚浩 (平4)	清水 志保 (平6)
鬼山 幸生 (昭59)	櫻井登茂子 (昭59)	宇佐 昌芳 (平7)	石橋 紀久 (平11)
浅沼 章宗 (昭60)	高橋 薫 (昭60)	中村 靖治 (平11)	高橋 圭介 (平13)
原 正朝 (昭60)	長尾 公則 (昭61)	神野 正啓 (平16)	平井 聖人 (平19)
池澤 竜平 (昭62)	加藤 恵介 (昭62)	徳田 宙久 (平19)	大山 幹人 (平20)
黒川 智彦 (昭63)	宮崎 修一 (昭63)	服部 芳野 (平23)	山元 広平 (平26)
緒方孝一郎 (平1)	黒木寿和子 (平1)	山崎裕太郎 (平27)	森蘭 文恵 (平27)



平成29年10月14日 於 フレンチレストラン「レ ロジェ ビストロ ド ロア」

## ●● 近畿支部 ●●

近畿支部幹事長 伊藤 潔 (昭59)

平成29年度近畿支部総会は、10月15日(日曜日)の午後1時半より阪急グランドビル27階の中華料理グランド白楽天を会場に開催しました。初めての場所でしたが、VIPの来賓を含めて皆さん迷うこともなく集まってくださいました。梅田の阪急32番街の27階、近畿支部21名の参加者は人数的には昨年より寂しくなりましたが、それを補うかのように平成卒の若手大学人2名が駆けつけてくれていました。

長薬同窓会本部から山中國暉会長(昭43)と編集幹事の川上 茂薬学部教授(平7)をお迎えし、23名の会は予定通り午後1時半に開始しました。過年度の会計及び監査報告に続き、レクリエーションを兼ねての催し物(後述)を企画実行していきたい方針を盛り込んだ平成29年度の事業計画・予算案は拍手で承認されました。

山中会長からは、日本の薬学部のルーツにも関わる養生所等の遺構保存に関する資料を持参、配布いただき、長崎の近況を含めたあいさつを頂戴しました。引き続き川上教授からは、その遺構保存に関する薬学部の取り組み状況等を詳しく説明いただくとともに、「医療イノベーション推進におけるDDS研究」についての特別講演で、まさに最先端の研究の情報を提供していただきました。圧巻の講演内容であったと感謝しています。また、遺構保存についても、期待を込めて推移を見守りたいとの思いを多くの参加者が共有しました。

さて、内容が前後しますが、昨年度実現できなかった支部のホームページをオープンして情報発信をしていくこと、レクリエーション事業の実績を積み上げていくこと、近畿支部100周年の記念事業について、できれば長薬同窓会の定期総会に重ねて大阪で開催するための準備をしていくことが当面の課題です。レクリエーションの第一弾というか、予行演習という形で、伊藤、末澤、久松、

山澤の4名が、11月19日(日曜日)に大阪市阿倍野防災センターに行って参りました。大地震や津波等の危険も指摘されるこの頃、1時間ほどのツアーは、巨大地震を体験するアトラクションもあり、いろいろと考えさせられるとともに、ためになる部分が多い貴重な体験でした。このような会を少人数からでも実施していくことが支部の活性化につながるはずです。ご家族、友人を始め、近畿支部以外からの参加者も歓迎していきたいと思っています。

特別講演に引き続いての懇親会は、山澤龍治さん(平18)の進行で例年通りに始まりました。フカヒレの姿煮もあったコース料理に舌鼓を打ちながらの懇親会は、大いに盛り上がった楽しいひとときでありました。最後は万歳三唱で支部総会を一旦終えましたが、その後も例年通りのことながら、参加者の多くが二次会会場へ場所を移し、話しきれなかった思いを語る時間をもつことができ、夜も更けた中、解散となりました。

近畿支部100周年の記念事業でもある定期総会の会場も近日中には決定し、皆さまにご案内したいと思えます。少々腰を入れて準備に入らなければとも感じます。ご助言や提案は歓迎します。昨年の支部だよりのコピペになりますが、同窓会って名のつくところは楽しいところであって欲しいとずっと思っています。近畿支部はもちろん、他のすべての支部の活動が楽しく、気軽に参加できるものであり続けることを祈りつつ、まずは目の前の支部活動をしていきたいと思えます。よろしくお願いたします。

最後に参加者の氏名を記します。

山中 國暉(昭43), 川上 茂(平7), 山戸 寿(昭30), 山口 剛志(昭31), 白石 哲也(昭32), 白石 葉子(昭32), 梶野 繁(昭42), 遠藤 寛子(昭42), 木原 隆英(院昭43), 畑中 久勝(院昭44), 広本 淳子(昭44), 山内 平介(昭46), 植木 俊行(院昭47), 末澤 克己(昭47), 小池 正博(昭47), 江田 昌平(昭54), 伊藤 潔(昭59), 鷺尾 兼寿(昭59), 久松 貞義(昭60), 福留 珠代(昭62), 山澤 龍治(平18), 渡邊 裕之(平20), 迎 武紘(平24)



平成29年10月15日 於 グランド白楽天



## ●● 広島支部 ●●

支部長 青野 拓郎 (昭52)

長薬広島支部同窓会を平成29年10月15日(日)に昨年と同様にホテルグランヴィア広島のスカイバンケット曙光で開催しました。3日後にクライマックスシリーズが開催されるプロ野球カープの本拠地MAZDA Zoom-Zoom スタジアム 広島を眺めてカープの話題で盛り上がりながら開会前から懇談しておりました。この時点では、まさか日本シリーズにいけなくなるとは思っていませんでした。

今年は、長薬同窓会庶務幹事の岸川直哉先生(平10)をお招きしての開催となりました。厚生局の集団的個別指導と重なったりしたことや、諸事情で欠席された方もいて12名での会となりました。

今回は、いつも司会をお願いしている橋口信彦先生(昭36)が欠席されたため、森崎孝幸先生(昭45)の司会のもと始まりました。支部長挨拶の後、村上 剛先生(昭43)による乾杯挨拶があり、会食懇談となりました。

歓談の合間に来賓の岸川直哉先生の御挨拶があり、長崎大学薬学部近況についてスライドを印刷した資料を使って、お話をお聞きました。平成29年度長薬同窓会定期総会、原爆慰霊碑及び小野島校舎跡記念碑清掃、白衣贈呈式(1年生)、また臨床薬学系4研究室の坂本キャンパスへの移転(旧歯学部病院へ)についての話など興

味深いものばかりでした。

近況報告では、今年こそ日本シリーズで優勝をという話が多かったのですが、まさかの結果になるうとは、この時は思いもしませんでした。いつもの年と同様に旅行の話、現在の仕事の話やご自身やご家族の病気の話、ご家族の介護の話等、様々な出来事の話をお聞きしました。

大石輝雄先生(昭35)、元永育子先生(昭35)からは、マツダ病院(旧東洋工業付属病院)時代のお話しをお聞きすることができました。曾根正勝先生(昭46)は、昭和町校舎での思い出とお孫さん中心の現況を話されました。古屋敏子先生(昭47)は、娘さんが出産で帰省され4世代で暮らされている現況を話されました。そして薬剤師会の研修会の関係で数年ぶりに参加された岸川映子先生(昭60)からもお話をお聞きできました。

近況報告が終わったところで写真撮影に移り校歌を斉唱し、最後に大石輝雄先生(昭35)の閉会の辞及び乾杯で閉会・解散となりました。

### 出席者

来賓	長薬同窓会庶務幹事	岸川 直哉 (平10)
大石	輝雄 (昭35)	元永 育子 (昭35)
村上	剛 (昭43)	森崎 孝幸 (昭45)
曾根	正勝 (昭46)	古屋 敏子 (昭47)
青野	拓郎 (昭52)	渡邊真由美 (昭52)
岸川	映子 (昭60)	瀧口 益史 (院平5)
手島	賢二 (平8)	



平成29年10月15日 於 ホテルグランヴィア広島

## ●● 福岡支部浦陵会 ●●

会長 池田 光政（昭57）

今年度の長薬同窓会福岡支部浦陵会は、福岡の暑い夏も、少し一段落してきた、9月10日の日曜日、福岡市の天神の平和楼本店にて、12時からの総会に続いて、懇親会が開かれました。

今年は長薬同窓会の山中国暉会長、並びに副会長の中嶋幹郎教授も長崎からご出席賜り、最年長の松本康裕先生（昭24）から、最年少の小林美心さん（平27）まで、幅広い年齢層、そして、男女比も男性22名、女性17名、平成の卒業生8名を含む総勢39名の賑やかな顔ぶれにご出席を頂きました。

また、中津在住の中島ご夫妻（昭57、昭59）や、行橋の原口さん（昭59）、小倉の原田さん（昭60）、そして毎回熊本から駆けつけてくださる山本先生（院昭55）も浦陵会にご参加いただきました。

ご出席いただいた皆様に、浦陵会幹事一同、この場を借りて感謝申し上げます。

今年90歳とは思えない、今もスキーを続けておられる若々しい松本康裕先生の乾杯のご発声に続き、中華に舌鼓を打ちつつ、長崎大学薬学部教授の中嶋幹郎先生の今の長薬の近況報告を聞き、懐かしい学び舎を想いだす時間となりました。

参加者の近況報告では、甚大な水害があった朝倉地区へボランティアで日焼けされた先生からまだまだ復興まで時間がかかるというお話、福岡県内の女性の同窓会である紫陽会の今年の報告、原爆の投下で存亡の機にあった長薬を守って下さった先達のお話など、多彩なエピソードが聞け、参加者の皆さんにとって、様々な思いを抱きながら、同窓会の繋がりを感じていただいたことでしょう。

中締めのご挨拶を頂いた有吉敏彦長崎大学薬学部名誉教授が、「私は九大出身ですが、長薬の同窓会の方に頻繁に参加しています」というお言葉も印象深く響く中、お開きを迎えました。

今回初めて参加して、楽しかった！というお声もいただきました。今回、ご参加いただけなかった福岡県在住の方も是非次回、ご参加ください。来年の浦陵会もまた多くの出逢いと再開の場になるよう祈念します。



平成29年9月10日 於 平和楼本店



## ●● 大分支部 ●●

浜野 峰子 (平8)

平成29年1月28日(土)午後6時30分、アリストンホテル大分 チャイナダイナーにて、平成28年度長薬同窓会大分支部総会及び新年会が開催されました。大分支部では2年前に幹事が交代しており、今は陸丸さん(院平15)と、河村さん(平18)が務められています。早めに案内を配布してくださったこともあって、昨年に引き続き30名超えの参加者となり、長崎から同窓会長の山中國暉先生も出席されて、大変賑やかな会となりました。

同窓会報を見ますとどの支部も若手の参加者が少なく、大分支部も例年その傾向にあります。それでも今回は33名中10名が平成卒で、出席者からは「若手が多いですね」との感想もありました。とは言いましても平成もう29年です。平成一桁の卒業生と20代の方がひとくりされるのは申し訳ない気がします。

年代別で目を惹くのは昭和50年、昭和51年卒の出席率の高さです。昭和50年卒は5名、昭和51年卒は3名の会員がいますが、今回は全員出席でした。私自身はこの同窓会で同級生に会えた経験はほんの数回ですので、大変うらやましいです。

総会ではまず、ご逝去された野上真由美先生(昭51)のご冥福を祈り黙祷を捧げました。その後収支決算や会員の異動の報告がありました。これは後で知ったことですが、平成28年卒の上田さんは大分県出身でこの年に長薬を卒業して地元に戻ってきた唯一の薬剤師ということです。所属が幹事の陸丸さんと河村さんと同じであるた

め、当日は受付などのお仕事を担当してくださっていました。初々しい姿をとても眩しく感じました。

新年会では、大分支部で最年長の会員でいらっしゃいます西川恭夫先生(昭26)がこの日お誕生日ということで、皆さんからゴルフボールのプレゼントがありました。西川先生は顔が艶やかで背筋もびんと伸びていらっしゃいますし、前日もゴルフに行かれていたというほどお元気です。西川先生にお会いしたくて出席している参加者も多いと思いますので、これからも引き続きずっと素敵な笑顔を私達に見せていただきたいです。

私が座ったテーブルでは、偶然にも行政職、薬局勤務、病院勤務が2名ずつという組み合わせでした。薬剤師同士でも職場が違うとまるで他職種と話しているようで、自分にとってはごくごく当たり前の普通の業務のことで驚かれたり、逆に話を伺ってそんなこともあるのかと感心したりしました。共通して言えるのは薬剤師不足で、毎年新たに薬剤師が誕生しているはずなのに、いったいどこにいるのだろうと不思議になります。

毎年恒例の近況報告では、卒業年度の若い順に全員がスピーチをします。さまざまなお話が披露されますが、今回最も印象に残ったのは、宝くじで「一等前後賞の組違いだっただ！」というものでした。一瞬「おおっ」と思ったのですが、賞金はないそうです。でも何だかいいことが起こりそうな気がしてきました。楽しいお話をしてくださってありがとうございます。

さて、会の最後にはいつも巻頭言、校歌斉唱、万歳三唱と続きます。堤先生(昭62)の巻頭言はこれまでも何度も聴いていますが、今年はまた一段と身の引き締まる思いがしました。万歳三唱は男性の参加者でもっとも若い森さん(平19)でした。事前の打診なく急なご指名



平成29年1月28日 於 アリストンホテル大分



でしたが、落ち着いて立派に務められていました。

いつもこの会に出席して思うのは、素敵な先輩方が多いということです。男性陣は紳士的でお話がおもしろく、女性は可憐でみなさんとても上品です。なかなかた

くさんの方とゆっくりお話することはできませんが、直接会話しなくても毎年顔をあわせて近況報告を聞いていますと、とても近しく感じます。また次回も皆さんにお会いできますように。

## ●● 熊本支部 ●●

支部長 松尾 富士男 (昭59)

平成29年度の熊本支部例会は、9月2日(土曜日)午後7時から、熊本市内の白川沿いにある「ホテルメルパルク熊本」で開催いたしました。今年の参加者は11名で、例年より少なめでした。

支部長の山本喜一郎さん(院昭55)からの開会ご挨拶に続き、同窓会本部からは今年もアクア薬局本店七種均先生(昭56、長薬同窓会副会長)にご出席いただきました。毎回、報告内容のネタに苦労されていると思いますが、今年も包括的かつ新しい話題をたくさんプレゼンいただきました。母校に久しく戻っていない方ばかりなので、皆感嘆の声とともに聞き入っていました。ありがとうございました。

宴もたけなわで、ご出席の皆さんから恒例の近況報告をいただきました。五十肩の話題、畑の違う職場に転職された方、熊本の救急医療体制の話題、孫の運動会に行

きたいけど仕事で行けない方、重い病気にかかったお子さんを持つご家族との長年の会話を通じ薬局薬剤師として患者との信頼関係を最近実感した方、など様々なお話を伺うことができました。ご参加いただく皆さんが常連化しつつあるためか、2回目以降はネタがなくなると思われがちですが、皆さん新しいネタ満載で、ボケとツッコミもあり、終始賑やかな支部例会でした。

また、今年もご欠席の皆さんに返信葉書で近況をご報告いただきありがとうございました。とても心温まる内容や来年こそはと参加希望の声などをいただき、ご出席の皆さんと情報を共有いただきました。今年都合で参加されなかった常連さんにも、是非来年お会いしたいと思います。

出席者(敬称略)

平野 玲子(昭52)	岩下 淑子(昭52)
古川 真一(昭54)	山本喜一郎(院昭55)
秦野 正敏(昭56)	田中 久子(昭56)
矢上 一英(院昭57)	松尾富士男(昭59)
矢田 道代(昭60)	雑賀みどり(院平13)
七種 均(同窓会副会長)	



平成29年9月2日 於 ホテルメルパルク熊本

## ●● 佐賀支部若楠会 ●●

### 三宅 秀明 (平17)

平成28年度の佐賀支部若楠会総会及び懇親会は平成29年3月20日(月)午後4時から佐賀市内のグランデはがくれにおいて開催されました。今年の参加人数は23名でした。

総会では、長崎大学薬学部校歌斉唱に続き、来賓の山中國暉会長から長崎大学薬学部同窓会のお話を、また、川上 茂先生(平7)から長崎大学薬学部の近況のお話をいただきました。

その後、藤戸 博支部長(院昭52)から挨拶があり、議長に下平伊知郎先生(平10)を選出、議事を終え、写真撮影を行い、懇親会へと移りました。

懇親会では、乾杯の音頭を江口 皞先生(昭30)にとってもらいました。私たちの席では、「山合宿(湯布院で開催?)がいつまであったか?」が話題になり今年度でご退官される甲斐教授、小林教授の懐かしいお話、薬学部棟の改修工事のとき、5階に渡邊教授(旧放射線生命科学研究室)、小林教授(分子病態薬学)、植田教授(分子薬理学研究室)が集まって一致団結していた話などで盛

り上がりました。

最後に福島祐作先生(昭37)の万歳三唱で散会となりました。

さて、藤戸支部長からもお話がありましたが佐賀支部若楠会では出席者、特に若手の出席者が少ないという問題があります。是非皆さん同窓会に参加して、旧交を温め有意義な時間を過ごしませんか。

来年もよろしく願いいたします。

#### 出席者

山中 國暉(昭43)	川上 茂(平7)
江口 皞(昭30)	福島 祐作(昭37)
富永 義則(昭44)	富永 律子(昭47)
大坪 美穂(昭47)	大間 賢一(昭47)
西田多津子(昭49)	藤戸 博(院昭52)
末安 正典(昭52)	西依 健(院昭54)
御厨恵美子(昭61)	佛坂 浩(昭61)
志岐 寿子(平4)	中山 智美(平4)
古賀 直美(平4)	中嶋 智子(平4)
下平伊知郎(平10)	木寺 健司(平15)
三宅 秀明(平17)	平 佳代(平24)
矢ヶ部良太(平26)	



平成29年3月20日 於 グランデはがくれ



## ●● 長崎県北支部 ●●

支部長 相川 康博（昭48）

平成29年10月21日夕、佐世保グリーンホテルいけ洲博多屋において、支部総会を開催しました。会員18名と、山中同窓会会長の代理で参加いただいた庶務幹事の岸川直哉先生（平10）の合計19人で、惜しくも目標の20人には届きませんでした。

当日は、超大型で非常に強い台風21号が沖縄の南に接近中で雨も心配の中、少し早めにJRで佐世保駅に向きました。駅舎を出ると、前の広場で丁度開催中の佐世保よさこい祭りの演舞が行われていて、何気なくプログラムを見ると長大のチームが間もなく披露することになっており、見てから会場に向かうことにしました。音楽が始まると総勢60人位でしょうか、元気な舞を見せてくれ、法被を脱ぎかけてポーズを決めると観客から大きな歓声上がり、最後に法被を空に向かって脱ぎ捨てると拍手大喝采、後輩たちの活躍に大先輩として少し鼻を高くして会場に到着しました。

17時になり、遅れると最初から返信のあった中島憲一郎先輩（昭46）の到着を待たずに始めることにして、まず私が挨拶と会計報告を行いました。今上 亨先輩（昭25）が転出で名簿から外れ、いつも参加される松田雄光先輩（昭25）には、会社の昼休みの散歩中にたまにお会いするが本日欠席、末武和子先輩（昭29）も欠席、そして、いろいろ手伝ってくれた井手指月さん（平2）が米国ミルウォーキーに転居と淋しい限り、しかし、今年初

めて参加の光富吉朗さん（昭52）と江崎育子さん（昭53）と梶島 力さん（平4）の3人を迎えることができ、そして、荻野清子さん（昭62）が、県北の中核病院である佐世保市総合医療センターの薬剤部長に昇進とめでたい報告もできました。

続いて来賓の岸川先生から、挨拶とともに同窓会の最近の活動状況と125周年記念事業、薬学部の近況として臨床薬学系4研究室が坂本キャンパスの旧歯学部病院に移転したこと、主体的学習支援システムや国際交流、研究報道・受賞情報など、プリントを配って説明していただきました。

一連の冒頭のセレモニーを終わり、出席者の中では名簿トップの松尾幸子先生（昭34）に、乾杯の発声を突然にお願いしたところ、突然の指名に驚きながらも仕方がないと快く受けていただき、皆で元気よく乾杯し、その後歓談の時間に移りました。



平成29年10月21日 於 佐世保グリーンホテル いけ洲博多屋

しばらくして全員揃ったところで集合写真を撮り、卒業年の順にそれぞれの近況を報告してもらいました。その中で松本功治先輩（昭41）が、オカリナの焼物作りを始めたとの事でその一つを持参されていたので、何曲か演奏してもらって全員が聴き入りました。その後もビー



オカリナ演奏の松本先輩と乾杯発声の松尾先輩

ル瓶を手に席を巡っては、趣味のゴルフのこと仕事のこと学生時代のこと、久しぶりの情報交換が賑やかに続きました。

歓談も十分進んだところで、最後に来賓の岸川先生に万歳三唱の音頭をとっていただき、皆声高らかに万歳をして会をお開きとしました。皆の日ごろの行いが良いせいか、心配していた雨も降らず、家路につく人飲みに行く人それぞれに会場を後にしました。

#### 出席者

松尾 幸子（昭34）	林田 匡代（昭36）
松本 功治（昭41）	護山 順子（昭44）
島田志津枝（昭45）	中島憲一郎（昭46）
大井 和子（昭47）	田代佐夫子（院昭48）
相川 康博（昭48）	橋本 次男（昭50）
榊原 隆三（院昭50）	光富 吉朗（昭52）
江崎 育子（昭53）	東 三郎（昭56）
東 文子（昭56）	荻野 清子（昭62）
梶島 力（平4）	山口 拓（平8）

## ●● 長崎県央支部 ●●

支部長 田中 秀二（昭46）

山では紅葉の便りも聞かれる平成29年10月29日、大村市の松原駅から400mほど離れた和心・古民家「花さんさん」において、山中会長を迎え県央支部総会及び懇親会を開催いたしました。

総会に先立って、今年7月にお亡くなりになった西村ヒサ子さん（昭31）のご冥福を祈り全員で黙とうを捧げました。

総会では、会長からご挨拶のほか、旧薬学部昭和町校舎跡の記念碑や同窓会への寄附依頼（ロゴ入り白衣の贈呈あり）など同窓会の活動についてお話がありました。

その中でも、既に報道されて皆様もご存じと思いますが、長崎市立仁田佐古小学校建設予定地である長崎市西小島の旧佐古小学校跡地から、医学所と附設された養生所及び分析究理所などの遺構が見つかったことに触れ、江戸末期の長崎に造られた日本近代医学の源流となる医学所に附設された養生所は現在の大学病院の原型となるもので、また分析究理所は長崎大学薬学部のみならず日本の薬学部の起源であり、柏葉会館はこれを模して造られているとのことでした。

会長自ら日本最初の西洋式病院である養生所等遺跡の完全保存を求める「養生所等遺跡を残す市民の会」が発行したパンフレットを持参され、その保存を求め各界各団体が活動されており、その活動に協力願いたいと熱く

語られました。

総会に引き続き、最長老でお元気な山本さん（昭30）に乾杯の音頭を取って頂き、懇親会が始まりました。

少しお酒の入った頃を見計らい、参加者の方々から近況などについて報告を頂きましたので、その一部をご紹介します。

「テニスを続け、若い若いと思っていたが、最近小指が化膿したり、膝や腰などが痛み年齢相応に年を取って居るのだな…と感じています。」「昨年夏、血管が食道を巻き圧迫する食道狭窄による嚥下障害を妻が発症し入院、現在は自宅で過ごしていますが、全国でも20数例しか無い珍しい症例なので皆さんに報告しました。また、運転免許を返納しタクシーの1割引を受けていますが、不便なので電動アシスト三輪自転車を購入しました。」「大病が服を着ている様な私ですが、東日本大震災の被災地を旅行し、デーブさんと三陸の一本松で写真を撮りました。」と一本松を背景にテレビコメンテーターのデーブ・スペクターさんとツーショットの証拠写真が回ってきました。皆さん齢を重ね健康に不安を感じながら、楽しんでおられる様子が伺えました。

また、お目出度い話題として熊本さんから「薬局を営みながら学校薬剤師を続け、閉局後も継続しており11月に知事から表彰を受けます。薬剤師をして良かった！」と薬剤師しかできない社会奉仕活動を長年に亘り行った素晴らしい紹介もありました。

その他、「先輩から誘われて参加し、平成卒の参加者が私一人しかいないのに驚きました。先日、愛犬のチワワと多良岳に登ったところ意外ときつく、後日筋肉痛に悩

まされました。」と若さ溢れたお話がありました。

これらの近況報告の中で、中村さん（昭44）からお父上が残されていた貴重な記録について紹介がありました。

「薬局を開設していた父が原爆直後の大学病院や中町教会、一本柱の鳥居など長崎市内の様子をコメント入りでスケッチしており、原爆資料館で見て頂いたところ、当時の様子が正確に描かれており貴重な資料と言われ、資料館で保管して頂くことになっております。」との発言に周囲から「凄いなー」「ぜひ拝見したい」と驚きの声が上がっておりました。

後日分かったことですが、2年余りに前に掲載されていた長崎新聞によると、お父上は長崎医科大附属薬学専門部を卒業され、現在の長崎市中町で営んでいた薬局で被爆されましたが、難を逃れ、被爆者の救護、火葬などに当たられたとのこと。現在はお亡くなりになっておられますが、生前、水墨画や水彩画などの絵画や短歌に親しまれ、その中に、投下された直後から2～3年の間に作られたとみられる原爆関連の作品、絵画や短歌が画帳と手帳各1冊に残されていたとのこと。

近況報告の間も会話が弾み、終始大変和やかな雰囲気では進みました。

ここで、返信葉書の通信欄に寄せられた方々の近況の一部を紹介させていただきます。

「3月一杯で薬局を譲渡しフリーになり、今は旅行などに備え体力作りに励んでいます。週2日ほど仕事に行きますが、週6日働くあの生活には戻れません。」「子供

も家を出て、親の介護も軌道に乗り、落ち着いた日々を過ごしています。」また、「毎日、慌ただしく過ごしております。今回は予定が重なってしまい伺えませんが、次回はぜひ参加させていただきます。」などのお便りがありました。

皆さん時間が経つのも忘れ楽しいひとときを過ごして居ましたが、列車の時間が迫り、最後に若い世代を代表して高木さんの一本締めで締めくり、来年の再会を約束しながら会場を後にしました。

これまで初めて来られた方々からは、「参加して良かった。出来れば次回も参加したい。」との声が多く聞かれました。まだ参加されていない同窓生の皆さん、同級生や知人の方を誘い、ぜひ一度参加されてみては如何でしょうか。

今回は若いお二人が参加され、次はより多くの方々の参加を期待したいと思います。

#### 出席者

会長 山中 國暉（昭43）	郷野美智子（昭30）
山本 勲（昭30）	熊本 公子（昭33）
松村 祐子（昭40）	平山 文俊（昭41）
内田 民子（昭44）	中村 和子（昭44）
岩永 直子（昭46）	香月幸一郎（昭46）
田中 秀二（昭46）	藤原 正晴（昭51）
山口 正広（昭56）	山口 綾子（昭60）
高木 由美（平6）	



平成29年10月29日 於 花さんさん



## ●● 長崎支部ぐびろ会 ●●

会長 中嶋 誠一（昭49）

平成29年度の長崎支部ぐびろ総会は6月10日（土）にホテルニュー長崎にて57名（うち薬学部学生11名）の参加で開催されました。

長薬同窓会定期総会が長崎で開催されることもあって、多くの方々に参加していただき有意義な総会を開催できましたことをうれしく思います。

総会は物故者の黙とう、校歌斉唱、会長挨拶（中嶋）、来賓として山中長薬同窓会会長挨拶のあと、議長に秋吉隆治氏（平3）を選出して、議事を進行了しました。

第1号、2号議案：平成28年度事業報告、決算報告、監査報告、庶務報告を行いました。平成28年度も本部事業への協力という形となりましたが、事業報告をご紹介させていただきます。

- ①ゲビロが丘慰霊碑周辺の清掃
  - ②旧小野島校舎跡記念碑周辺の清掃
  - ③ホームカミングデイ（長崎大学全学同窓会）への参加
- 第3号議案：平成29年事業計画。事業計画は例年通りの事業を行うこととなりました。

第4号議案：平成29年度予算案。以上を提案し、承認されました。

総会の後、引き続き長薬同窓会定期総会、長崎大学病院薬剤部長：佐々木均教授（昭53）による「日本に広げる長崎の5つの絆」と題しての講演、懇親会が開催されました。全国からの同窓生の方々に加え、薬学部学生にも出席いただき、なごやかな雰囲気のもとで楽しいひとときを過ごしました。

3年に一度の本拠地長崎市で開催される本部総会でしたが、おもてなしにもいろいろと不備がありましたことをこの場をお借りしてお詫びいたします。来年度も是非、ぐびろ会総会、懇親会に参加していただき、会員の近況報告、情報交換の場としていただけたら幸いです。



# クラス会および近況だより

## 卒業60年を振り返って

白石 葉子 (昭32)

大学を卒業して60年、記念の年を迎えて、学年理事長田さんのお誘いもあり、久しぶりに夫婦で長崎を訪ねました。6月9日、長崎空港からバスで長崎市内に向かう途中、昭和町を通りましたが、下宿していたところは道路に変わっていました。

翌日の夕方、ホテルニュー長崎で行われた長薬同窓会と懇親会に参加しました。同期生は長崎在住の長田さん、後藤さん、尾道から工藤さん、姫路から私たちの5名でした。会場では最年長テーブルに座るほどの高齢者になっていました。総会に続き、佐々木 均教授の「日本に広げる長崎の5つの絆」をスライドでわかりやすく説明していただきました。懇親会では懐かしい方々との久しぶりの再会もあり、楽しい一夕を過ごせました。



同期生5名が集まりました。  
前列左から白石哲也、白石葉子、長田雅子、後藤達元  
後列左から工藤重子、辻孝 (昭33)

翌日、大村湾のそばにある大村城址を散策し、お堀一面に咲いた菖蒲を眺めて往時を思い起こしました。私たち昭和28年度の入学式・授業は大村湾が見渡せる丘の上の大村分校（一般教養部）でありました。早岐に住んでいた私はしばらく汽車通学しました。川棚駅から医学部の吉富さん（現：片田さん）が乗ってこられ、仲良しになり、交流が今でも続いています。

姫路に戻り、クラス会の歩みを古いアルバムを引っ張り出して振り返りました。30代から50代までは5年おきに、還暦を迎えてからは2年毎にその後毎年、各地に住んでいる同期生が幹事となり、クラス会を続けていました。そこには一番ヶ瀬先生（当時：生化学教授）の笑顔がありました。先生は我々の学年主任でしたので、熊本大学に移られても、退職されても参加してくださいました。場所は東京、箱根、伊豆・下田、京都、神戸、尾道、山口、北九州、博多、別府・臼杵、そして長崎。中でも

一番多いのは長崎です。卒後50年と25年のクラス会の様子を紹介します。

### 卒後50年のクラス会



同期生17名に一番ヶ瀬先生ご夫妻がご一緒に丸山「花月」に集まりました。(2007年10月21日)  
各々の近況を報告して、再会を喜び合いました。舞台での踊りにも挑戦したり、盛大で楽しい記念の会でした。

### 卒後25年のクラス会



同期生21名に一番ヶ瀬・河野先生がセントラルホテルフクオカに集まりました。(1982年4月17日)  
50歳を前にして、それぞれの場で皆働き盛りの頃です。その折の先生のコメントです。  
一番ヶ瀬尚先生：今後、ますます元気に回を重ねるように祈っています。  
河野喜美彦先生：笑って明るく楽しく生き抜いて下さい。

クラス会の度に、皆様の若い時からの絆を改めて思い出しますが、卒後60年は短かったようにも感じます。多くの同窓生の方々との出会いに感謝して、これからも元気に暮らせたらと思っています。

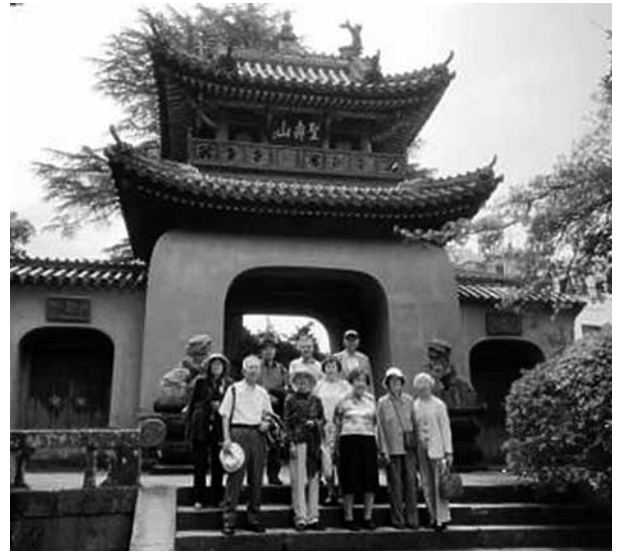
## 参楽会（昭和33年卒）近況

西脇 金一郎（昭33）

男性の平均寿命81歳をすでに超えた者たちが今年も長崎に集まった。ここ数年前から長薬同窓会総会が開催される場所に集まり、総会前日又は翌日に参楽会をやっている。

今年は長崎会場であったため、総会前日の6月9日18時に茂木「料亭二見」に11名が集まり、お互いの無事を確かめ合う。因みに現在、健在が確認されるクラスメートは28名、約3分の1が亡くなってしまったことになる。残りの元気者たちは翌日10日の午前11時には中国寺・崇福寺の門前に集合。寺院を拝観し、その足ですぐ近くの料亭「春海」に上がり長崎の文化を味合う。3時に散会。総会組は引き続きニュー長崎ホテルへ向かう。さすがに女性軍は元気だ。11日には雲仙1泊でシャペリングの続編を楽しんだようだ。

誰も参楽会を止めようとは言わない。きっと最後の3人までは。



## 三葉会（昭和34年卒）於 長崎 （最後か継続か）

田崎 三郎（昭34）

三葉会は、8年前に卒後50周年の同期会を長崎・野母で開催し、一応の区切りにしようと思いましたが。

しかし、平成4年からは毎年開催している会を途絶えさせる事を惜しむ声が多く、以後も毎年開催しています。



今回は皆80歳を超え、足腰に問題を抱えている人も多いので、最終回になるかどうかという大きなテーマを抱えての長崎開催でした。学年理事としてはもとより、何時も何かとお世話になっている松尾幸子さんが幹事で、男性6名、女性9名の参加でした。

稲佐山観光ホテル到着後、稲佐山山頂からの展望が予定されていましたが、小雨気味と老齢化のせいか殆どの人が山頂行きは省略したいということで、数名ずつ部屋に分散しました。宴会までの2時間半、男性は1室で談話に花が咲き、入浴を寸前に済ませて宴会場に集まりました。しかし、女性軍は話に花が咲き過ぎて入浴は後回しに宴会場に駆けつけたとのことでした。

宴会は9階の展望会場で夜景を楽しみながらの卓袱料理でした。女将の『お膳をどうぞ』の声こそ無かったが、鱈椀に始まり、鱈棒寿司、じゃが芋蟹寄せ、もち麩照り煮串、平日葱巻、五島鮪、栗豆腐鯛湯引、和牛ステーキ、冬瓜鯨煮、角煮・法蓮草包み焼き、栗と山菜の土鍋ご飯、栗ムース・わらび餅等々の料理を賞味しました。

眼下に長崎港が一望でき、対岸の松ヶ枝国際ターミナルに巨大な客船（コスタアトランチカ、8.5万トン、乗客定員2,112名）が天津から入港接岸していましたが、午後8時頃に博多へ向かって出港しました。丁度『テレビ長崎ラブフェス2017大花火大会』が開催されており、巨大客船出航後、その場所から花火1,500発が打ち上げられま

した。花火はこれまで見上げて鑑賞してきましたが、初めて眼下に室内から鑑賞することができました。

二次会は大部屋に全員が集まり、近況を披露し合いました。配偶者の体調不良をカバーし合っている人、大手術をした人、良薬に巡り会い元気を取り戻した人、数独、漢字ナンクロによるボケ防止、カラオケ、ウォーキング、テニスによる体調維持、囲碁、コーラス、作句、絵画、読書三昧、語学研修などの高尚な趣味活動を行っている人、現役の薬剤師、中には調剤実習生を親身になって指導している人らが居られました。健康な状態を維持しようとする生活の目標の先には、この毎年開催される三葉会へ参加出来るようにとの日頃からの心掛けが窺えました。

2日目は、三菱造船所史料館を見学しました。巨大な岩崎弥太郎像に迎えられ、まず説明を受けたのが泳気鐘（巨大な鉄製の跳び箱の様な形をした潜水用具。人が中に入り、底から海底を調査）。日本最古の堅削盤、戦艦武蔵の進水式切断用斧、91式魚雷などがありました。

昼食時、ホテルニュー長崎13階の中華料理店『桃林』に、前日参加出来なかった女性2名が駆けつけてくれました。中華料理のコースにあえて皿うどんが追加されており、長崎を堪能させてもらいました。三葉会は結局継続することになり、来年は井上萬里さんのお世話で下関で開催することになりました。



## 「日々雑感」

味田 和子（昭36）

京都市のお隣の亀岡市では、毎年5月になると「オープンガーデンかめおか」が開催される。3年前までは市が後援してマイクロバスを出し、60軒近くあるガーデンのうち何軒かの家を回って庭を見せてくれていたのだが、今は見たい人は自分の車が徒歩で回らなければならなくなった。

「オープンガーデン」に参加されている家の庭へは誰でも入ることが出来、飲み物や美味しいスイーツなどを振舞ってもらえる。又その家の方の丹精込めた美しい花々を愛で、花にまつわる話を聞くことが出来る。

3年前友人と共に参加した時には「アンネのバラ」を見ることが出来た。その名前の由来を聞き損じたが、アンネとはあの「アンネの日記」のアンネ・フランクのことである。濃いサーモンピンクの美しいバラだった。

今年もその友人が誘ってくれてその友人の知人宅へお邪魔した。その方はご主人と2人で長年かけて庭いっぱいたくさんの種類の花や木を植え、余所から来た私達まで楽しませてくださる。その上その方は短歌にいそしみ、新聞の「京都花壇」に投稿して度々入選している実力の持ち主だそうだ。

そういう話を聞いてから、今まで新聞の短歌、俳句の欄は飛ばして読んでいたのが、急に熱心に読むようになった。そして一つ私も句を作ってみようという気持ちになった。短歌は過去に作ったことが無かったので、学生時代少々得意だった俳句をやろうかと思ひ色々頭をひねってみたが、悲しいことに全く何にも出てこない。昔はあれ程スラスラと詠めたのに今のこの感性の枯渇はひどいものだった。

しばらく頑張ってみたがこれは無理かも…、と思い川柳ならばと先ず20年ほど前に読んだ田辺聖子著「川柳でんでん太鼓」を本棚から引っ張り出し再読して勉強することにした。20年数前に読んだとき、百首を上回る句がある中、強烈に心に残った句があり、その句はいつも心に浮かんで来ていた。それは鶴<sup>ツル</sup> 彬<sup>アキラ</sup>の句「手と足をもいだ丸太にしてかへし」。昭和12年、日本軍が米国の真珠湾を攻撃する2年前の日中戦争まっただ中に作った句である。戦争で手足もがれて丸太のようになって送り返される。この句には非情な国家権力に対する腹の底からの怒りが込められている。あの時代この句を作るのは命がけであったろうと思われる。事実、鶴 彬は特高に捕えられ、拷問の末獄死する。

田辺氏の言葉を引用すると特高とは特別高等警察の略で、“治安維持法”が制定されたのは大正14年であったが、その後年を遂ってその悪法は強化され、それと共に特高は増強された。昭和の初め頃から特高は恐怖のテロリズムに変貌したと云われている。

この項を改めて読むと、今の日本はひょっとして大正14年の頃と同じなのではないかとゾッとする。嘗て歩んだ愚かな道を又行こうとしているのではないか。老い先長くない私が、どうしたらそれを防ぐ事が出来るのかと考え込んでしまった。そして72年間も平和が続いた有り難さを噛みしめる。

私の川柳の腕がどれだけ上がるかわからないが、あのような悲痛な句を詠まなくてよい時代が続きますようにと祈るばかりである。

## 小林五郎先生・百合子夫人の墓参と偲ぶ会

白松 一良（昭36）

2017年の夏は異常気象に見舞われましたが、薬化学教室の創始者小林五郎先生（特）ご夫妻の墓参と偲ぶ会は、7月22日（土）武蔵野の自然が残る小平霊園で行われました。

今回は、薬化学教室元助教授の松田芳郎（昭37）夫妻の上京に合わせて、樋口宗司氏（昭42）の企画と、山脇洋子・行本侑子両氏（昭40）の下準備のお蔭で関東を中心に13名の同門が集いました。

小平霊園は西武新宿線の小平駅で降りて徒歩10分足らずの便利なところ。森田和之氏（昭30）は相変わらずの健脚で一足先に霊園入り口に到着されていました。射すような日差しも広大な霊園に入ると涼しい風がほっとさせてくれます。小林ご夫妻は緑の芝生に囲まれた百合子夫人のご実家の吉村家の墓に昔と同じように仲良く

眠っておられました。折からの強い風にも負けずに線香を供え、安らかなご冥福と長葉の発展、薬化学の充実を見守って下さるようお祈りしました。



小林五郎ご夫妻の眠られる吉村家の墓地（写真右手が小林ご夫妻の墓碑）

偲ぶ会は小平駅近くにある地元の名店「橙や本店」で行われました。樋口氏は残念ながら所用で参加されませんでした。大阪から黒田 誠氏（昭36）が駆けつけてくれました。

黒岩幸雄氏（昭30）の挨拶、森田氏の献杯で始まり、ご夫妻との思い出話を参加者全員で語り合いました。中でも盛り上がったのは、当時「麻雀をめぐる仲間」と「実験をめぐる仲間」とに二分されていたことに初めて気付かされたことです。しかし、共通していることは、ご夫

妻にはご自宅での遊びや食事等で随分お世話になった楽しい充実した思い出でした。

思えば、2009年6月に東京で長薬同窓会総会が開催された時に、まだお元気だった百合子夫人をお招きして、五郎先生を偲ぶ会を横浜中華街で開き、薬化学同門の士が集まって以来の再会でした。

さて、次はどのような機会に皆さんと再会できるのかを大いなる楽しみとして、お互い元気で健康寿命を延ばしていきましょう。



墓参メンバー左より：中村政記（昭41）黒田邦洋（昭39）山脇洋子（昭40）澤山和彦（昭43）黒岩幸雄（昭30）行本侑子（昭40）森田和之（昭30）松田芳郎（昭37）松尾一誠（昭35）白松一良（昭36）

## 長薬昭和37卒同期会の実施記録 平成29年5月15日（山口市湯田温泉にて）

幹事一同（昭37）

昭和37卒同期会は、毎年開催しており、昨年の東京浅草に次いで、本年は山口湯田温泉で開催する運びとなりました。案内は39名の方に差し上げましたが（卒業時47名）、高齢化に伴う諸事情で、最終集計では、13名の方が出席頂けることとなりましたが、諸事情が重なり、集合地の新山口駅前では、10名の集まりとなりました。

2台の観光タクシーに便乗して、1時30分出発の予定よりやや遅れ山口市内へと向かいました。長州は維新の勃発地であり、先ず訪れたのは、高杉晋作、木戸孝允、西郷隆盛、大久保利光、坂本龍馬、伊藤博文らの志士が

集った松田屋ホテルで、庭園を含め案内頂きました。それから、ザビエル記念聖堂、瑠璃光寺を訪れましたが、大内氏が南北朝の頃から首都を置き、京文化を取り入れ街を京風にした歴史があり、400年前にはザビエルを保護したなど長州人の優しさは大内文化を知らねばわからないような気がする司馬遼太郎も語っています。その優雅を伝える五重塔も、毛利氏の萩遷都に際し、不要のものとして80年間も置き捨てられたとのこと。隣接する香山公園には毛利家の菩提寺があり、枕流亭では薩長同盟の仲介役の坂本龍馬が密談したところと伝えられ

ています。

次に訪れた菜香亭は歴代の長州出身の首相等にひいきにされ、特に佐藤首相が愛用したと言われます。百畳敷きの大広間の壁には彼らの毛筆額が所狭しと掲げられていました。

次の常栄寺雪舟庭は大内氏が雪舟に造らせた庭で、雪舟は大内氏の庇護のもと雪舟庵で多くの水墨画の傑作を残しています。

18時頃には湯田温泉ユウベルホテル松政に到着しました。早速100%かけ流しの温泉に浸かり、ぼたんの間で宴会となりました。心地よい酔いに誘われ、学生時代のこと、同期生達の噂など話は尽きないなか、集合写真を

撮ってひとまず解散しました。二次会は、部屋の一室に集まり、池田君（欠席）差し入れの鹿児島焼酎を中心に再び話が盛り上がり、次年度の幹事を馬場君にお願いすることで衆議一決したところでお開きとしました。

翌16日は各自朝食後解散し自由行動としました。萩市、美祢市、長門市と見て回られた方々、津和野に行った方々、長府を散策された方と楽しんで頂いたと思います。

出席者：青木 昇、有村（大渡）浩子、中山（貞松）厚子、高井啓二、野村 修、馬場純好、寺尾（秀坂）桂子、吉田（古川）直美、本田 功、松崎早智子

（下線は幹事）



平成29年5月15日 於 湯田温泉ユウベルホテル松政



平成29年5月15日 於 菜香亭（歴代首相の毛筆額）

## 市長からお花をもらったこと

松村 祐子（昭40）

諫早市長からお花が届いた。翌々日が50年目の結婚記念日だったので、こども達くれたものだと思っていたら、今年の3月に退職した西諫早小学校の学校薬剤師の文部科学大臣表彰に対するお花だった。学校薬剤師の表彰はこれで5回目になる。

最初いただいたのは永年勤続で20年目位だった。当時は2校受け持っていて、真崎小学校の校長先生が表彰式に来て祝ってくださって、とても嬉しかった。中学校の優等賞、皆勤賞以来で、女性が賞をもらうことはあまりないのでとても嬉しかった。

学校薬剤師として特別なことはしていないけれど、真崎小学校での学校保健会は楽しかった。年配の校医さんが自分達のこどもの時はこうだった、ああだったと。例えば、本明川でどんぼをつかまえた手を洗いもしないでおやつを食べたなど、およそ保健会の参考にならないことを話されたり、エイズ撲滅運動や性教育に力を入れた頃に、看護学の教授が大きな布で袋を作って受精のしくみを実演なさるなど、まだ古いしつけの育ちだったので赤面した。後で校医さんが「時代が変わったんですよ。」と慰めてくださった。

もともとは自分のこどものために、学校薬剤師を引き受けたけれど、校長先生、養護の先生、事務のパートの方々の生き方、考え方に影響を受けた。女性の校長先生に「孫とこどもはどちらがかわいいですか？」とたずねたら、「それはこどもですよ」と即答された。

また、孫ができてからは、養護の先生に同じ年頃のお子さんがいたので、いろいろ相談をして、指導を受けた。空気の検査の時は、お子さんがインフルエンザで病欠中

なのをおして手伝ってくださった。

教え子が小学生を殺したり、殺されたこどもが幼稚園の時の教え子だったり、と定年間近の校長先生のお話もよく聞いた。女性の校長先生は外見だけが女だと思っていたら、そうでもなかったり。西諫早小学校では、校長先生と小中高校と同窓でこども時代の話で盛り上がった。校医さんも高校が同じで保健会が始まるまで話されていた。6年生のお嬢さん達に、性教育のついでに「こどもはいつまでも産めるものではない」と話したり、女子薬では少し年のいった薬剤師さんに結婚の紹介をしたらいいなとよく思った。

こどもといえば、母が「3人産まんば人口が増えん」とよく言っていた。教養学部の倫理学の時間に、こどもは自分の延長だといわれた。生命が続いていれば、今は普通の子でもいつかすてきな才能が開くこともあるかもしれない。鷹は鷹を生み、瓜のつるに茄子がなることもある。

大臣表彰だということで80歳になった主人と喜寿の私で金婚式の祝いも兼ねて出席しようかと想像して吹き出した。長女が連れて行ってくれると言ったけど、もっとゆとりのある時に一家で行った方が楽しいと思った。

県民表彰の時は次女がついて来てくれた。今度もこども達が喜んでくれ、ただただありがたいと思います。そして、市長からのお花が嬉しかった。

次の昭和40年卒同窓会は、平成30年（2018年）5月18日（金）～5月19日（土）に藤沢市江の島1-4-16「江の島 恵比寿屋」で行われる予定です。ぜひ参加してください。

## 昭和38年入学組の最後の同期会 (平成29年4月17日、京都駅ビル内「がんこ」にて)

高松 薫（昭42）

54年前高校を卒業し、異国長崎でみんな学者を目指し(?)同期生となった「古希のクラス会」である。入学したときは、男性23名、女性23名の計46名であった。もうあれから、54年経過した。道中皆疲れてしまい、卒業後はそれぞれが長い長い茨の道を歩いてきた。初志貫徹で大学教授に辿り着いた者もいるが、結婚し、もう爺さん婆さんになった者が一堂に会しようとする企画で、まさに一期一会である。この間、物故者になった者が7名、留学生などで住所も状況もわからぬ者5名、病床にいて出席できない者3名、生存しているようだが同期会自閉症

になって毎回出てこない者3名などなどである。今回はネットで状況を知らせ、最終的には16名の出席であった。

今回の主幹事は、京大の大学院に進学した奥村と阪大の大学院に進学した谷の両名が引き受けてくれた。1回目は長崎駅前の山の上のホテル（梅松鶴）で開催した。あのころは皆若く、元気だったので半数くらいの方が参加してくれた。女性たちも乙女の雰囲気をも多少残していた。しかし、その後結婚し名前が変わったり、物故者となったりして次第に出席が悪くなった。それでも7回目に梶野が西梅田のホテルで開いた頃は、女性たちも結構



元気な姿で参加していた。下関の梶原、福岡八女の杉、京丹波の渡辺佳子、大阪の遠藤寛子など出席していた。脳梗塞になった高松も神代が萩から連れてきてくれた。しかし、このあたりから病気による欠席者が増えてきた。会の席上「この次は5年先、どこでやろうか」という話がでたとき、奥村達の提案で1年毎にしようということになり、8回目は山口県でやることになった。幹事は神田、神代、高松、梶原の4名。103歳の母の介護で多忙な梶原も日帰りで参加してくれた。一方、井上は喉頭癌の治療中で「欠席することになり申し訳ない」という手紙をつけて福砂屋のカステラを送ってくれた。このとき、出席者は色紙に励ましの言葉を書いて井上に送ったことがあった。しかし、9回目に中津で丹羽が開催したときも井上は具合が悪いということで出席出来なかった。それが今回の10回目には元気な姿を見せて出席してくれた。竹尾は幹事を引き受けた9回目のみ、脳梗塞になり、不自由な身となったが、10回目の同期会には「前は本当に脳梗塞だったの？」と思わせるほどの元気な姿を見せてくれた。高松はまだ杖歩行であり、「b薫ちゃん、遅くなってごめんね」と杖一本、一人で萩から出てきた。頑張っており、近いうちにノーベル賞の山中先生のiPS細胞で復活すると息巻いていた。それにしても、今回は最後とあって、皆、どんな姿になっているだろうかと不安が交錯した。名前が分からないのではないかと不安な気持ちで恐る恐る京都駅ビル内の「がんこ」寿司店に集合した。顔を合わせても、昔のように「おい、お前」なんて声をかけるものはだれもない。遠慮して

恐る恐る「〇〇さんだっけ？」から始まった。出席者について特記すべきことは沢山あるが、「出雲の卑弥呼」こと、旧姓中島佳子と、大阪の旧姓西岡寛子が紅二点で出席してくれたことである。これは場を明るくしてくれた。古希なりとも、鯛は鯛の姿を見せてくれた。男性陣もみんな元気だった。それぞれ仕事や趣味で活躍しているようだった。田浦は、老人相手にバンドをつくり、介護施設で活躍しているらしい。しかし、残念なことだが、丹羽君（丹羽君の妹が奥田君の奥様）から奥田君が間質性肺炎で他界した旨の報告があった。（正式には膠原病の1つで、難病の皮膚筋炎による間質性肺炎だそうです。）彼は出席するつもりで、幹事も出席者の数に入れて楽しみにしていたが、最終回の直前になって、冬の寒さが影響したのだろう、あまりにも急な出来事であった。同期として何もしてやれなかったので、38年組同期会の名前で仏前に香典を供えることにした。ところで、彼が公務員であったことは同期の全員が知るところであるが、彼が長崎市の水道局に勤務していたことを知る人は多くない。薬学4年生のときは、柴崎教授の薬剤学教室にいたので、病院薬剤師になるのかと思っていたら、地元への就職を優先し、公務員が一番安定していてよいと考えたのだろう。このあたりは彼の性格が出ている。彼は名前を「正」というが、人間性が買われ、水質検査を一手に引き受けていたらしい。

ところで、今回の同期会の出席者がこんなに多かった要因を分析すると、複数人の幹事を置き、代表幹事の奥村と谷がネットや郵便で対象者に何度も何度も全体の動



平成29年4月17日 於 京都駅ビル内「がんこ」

きを知らせたこと。そして、谷が「記念誌」を発行すると盛り上げたところが大きいように思う。(男性については病気で欠席した2人と連絡がとれない2人を除くと全員が出席した。)ともかく、優秀な人格者の幹事がいて最終回を盛り上げ、お世話してくれたことが昭和38年入学同期会を最高のクラス会として終えることができた。また、会場を交通の便が良い京都に設営し、時間と費用負担を少なくしてくれたことは、集合を良くした要因であると付記しておきたい。

残念なことは、留学生(当時の沖縄も含む)で連絡先も分からない者5名と、10回もあったのに1度も出てこ

ない者3名もいたことである。反面、嬉しかったのは毎回、同期会を自分で招集していたのに、前回は喉頭癌になり、一時は再会も危ぶまれた長崎の井上が、最終回には元気な姿を見せてくれたことである。

出席者(名前順不同)

奥村忠芳, 谷 覺, 竹尾禎二, 井上一顕, 丹羽 瑛,  
樋口宗司, 藤本正治, 神田 尚, 梶野 繁, 神代良彦,  
渡辺 熙, 高松 薫, 村上 剛, 田浦 洋,  
渡辺(中島)佳子, 遠藤(西岡)寛子

## 昭和42年入学・同窓会

松尾 泉(昭46)

私たち昭和42年入学組は、平成27年11月22日に5年振りの同窓会を開催しました。リクエストの多かった地元長崎市での開催とし、会場はJR長崎駅から見上げる紅葉亭です。

開催幹事を、大西裕子さん、田口法子さん、宮崎信子さん、吉本紀美子さん、田中秀二さん、中島 透さん、松尾 泉が担当し、荒木一範さんがオープン参加しました。

今回は35名の参加者があり、当初の予想を上回る数で

した。初めての参加者も数名あり、およそ半世紀ぶりの再会には、とまどいや懐かしさなどが交錯し、当初は何ともいえぬ雰囲気が漂っていました。

しかし、当日の集合場所であるJR長崎駅では、荒木一範さんが自作の案内プラカードを持って立つ“ゆるいマスコット爺”が登場し、また会場では、中島 透さんが、長崎弁を駆使した“配席くじ”を準備してくれましたので、大いにこの雰囲気を和らげてくれました。

さらに、開会前には、長崎港から稲佐山にかけての空



平成27年11月22日 於 紅葉亭

が仄かに赤く染まってノスタルジックな世界を醸し出し、それが学生時代へのタイムスリップを容易にしてくれ、その後は、昔話や現況報告などで各テーブルとも大いに盛り上がりました。

また、今でなければの秘話やおよそ半世紀の間のそれぞれの話題は止まることなく噴出し、終盤には短い再会を嘆く声が聞かれるなど本当に瞬間に過ぎた時間でした。

しかし、古希を迎える年齢となり、月日の経過は如何ともし難く当時に戻れるものではありませんが、当日の

全員の心は学生時代そのまま、薄汚れた実験用の白衣を着ていた時と変わらなかったと思っています。

一方、参加した人たちの顔や話しぶりを見ると、私の小中学、高校の同窓生と比べ若々しく感じます。やはり、ほとんどが薬剤師としてまだ活躍しているからではないでしょうか。この元気を維持し、“生涯青春、生涯現役！”をモットーに次回での再会を約束しました。

ところで、次の開催は、2020年に“TOKYO”と決定いたしました。会場、会費について二転三転することはないと思いますので、楽しみにしてください。

## 2017年 長薬49年卒及び45年入学同窓会 —佐賀 武雄東洋館にて—

同窓会幹事一同（昭49）

平成29年10月14日に武雄温泉ホテル東洋館において、『長薬49年卒及び45年入学』というちょっと長い名称、恒例の同窓会の開催です。

当日の天気予報は雨、うーんちょっと困った。というのは、参加者全員ではありませんが、数名がホテルに

隣接するゴルフ場で朝からプレーをするよう計画をしていたのです。前日の予報は雨でしたが、みんなの思いが通じましたね。天は我々の味方です。当日は雨なし（曇りで無風）。プレーには絶好のコンディションで力が入ります。かなりいいスコアーも出ました。みんなニコニコ



平成29年10月14日 於 武雄東洋館

参加者敬称略左下より順番に

1列目 左から古賀、西田、小林、緒方、立花、林、山田、石橋

2列目 〳 芳田、拝崎、馬場、石橋、橋本、今村、野中

3列目 〳 池田、佐々岡、白木、西岡、森、阿部、金崎、亀山(奥様)、上ノ段

4列目 〳 松井、立花、灘、原田、亀山、堅田、馬場



です。ゴルフ組も夕方までには終了し、宴会に合流です。私たちの同窓会は初回平成9年岡山を皮切りに2年ごとに開催しています。

岡山→長崎（市内）→萩→別府→松山→大阪→佐世保→大宰府→長崎（五島）→神戸と開催された経緯があります。今回の開催地佐賀（武雄温泉）では、総勢31名の参加となりました。

宴会に先立ちアルコールが入る前にまず、記念撮影です。満面の笑みを浮かべ、余所行き今年一番のきりっとした、とっておきの一枚が撮れました。

宴会では、皆さんの近況報告を順番に一人一言という設定でお願いしたところ、それぞれに話が弾み、昔話から始まり一言が二言三言になり、身振り手振りまで加わり話に花が咲きます。

宴も佳境に入り和気藹々の中、アルコールもほどほどに入り、次回開催地を決める話に進みます。これが一苦労と前回の幹事からの申し送りもあり、難航必至だそうです。予想通り、やはりなかなか決まりません。九州、西日本はほとんど網羅され次はどこかと幹事がマイクを候補地の面々に向けるがなかなか首を縦には振ってくれません。でも幹事としては予定通りの設定で、ここでまた話が弾むところ、たっぷり時間をかけて余裕のやり取りです。

幹事としては、予め受付時に次回同窓会の候補地が決まらない場合は、予備として候補の了解を取っておいた

ので余裕で話が弾みます。やりたいけれどちょっと不安、マイクを近づけると体を後ろにのけぞり尻込みをする、どうしようか迷いに迷ってとそれぞれの思惑が交錯する中、楽しい時間のやり取りです。参加者の皆をあまりいじめては可哀そう。そろそろ奥の手を出して、最後は予定通り、事前に打ち合わせしていた東京に決定ということで締めくくります。

次回候補地も決まり落ち着いたところで次回の幹事からひと言、開催宣言をもって、一次会宴会の終了です。

次は二次会、幹事部屋に全員が集まり、事前に用意したつまみを囲みアルコールを片手に夫々が思い思いに語りだす。二年に一回という恒例の同窓会もやはり一次会は少し硬さも残った話でしたが、もう堅苦しさがまったくありません。

二次会は時間制限なし、朝までぶっ通しの予定でしたが、もう卒業して40年以上経った面々、やはり年には勝てません。夜の11時半をもって終了です。

翌日は、天気次第ですが、旅を続ける人、佐賀の焼き物の里有田に、神社に参拝組それぞれ別れを惜しんでの散会です。好評のうちに佐賀での同窓会を終えることができました。

幹事一同参加された皆さんに『ありがとう』の一言でお礼を申し上げます。今回はさらに多数のご参加をお待ちしております。

幹事 西田、池田、古賀、芳田

## 昭和51年卒同窓会報告（二日市温泉大丸別荘にて）

平田 厚司（昭51）

平成28年11月5日（土）、昭和51年卒同窓会を開催しましたので報告します。

3年前、長崎の同窓会で、今回は福岡で開催することが決まりました。私たちの同窓会は、ほぼ2年か3年おきに開催しています。

前回は皆が60歳の還暦の年で、今回は、卒後40年の節目の年の同窓会でした。福岡で開催するのは、5年前に続いて2度目となります。必然的に、福岡在住（県下のはずれ）の私がお世話をさせていただくことになりました。日時、場所等は私がだいたいを決め、メールで県下在住の何人かの女子の意見を聞いて決めていきました。前回は交通の便を重視し、博多駅近くのホテルで開催しましたが、今回はゆっくりとくつろげるところでと、二日市温泉に決めました。

二日市温泉は私には初めての地で、福岡市の奥座敷、ひなびた隠れ家的な温泉とばかり思っていました。ところが今は、近くに九州国立博物館が建ち、二日市駅には鹿児島本線を通る特急列車が停車するということが

初めて知りました。博多駅から15分、福岡空港から車で30分、特急も停車する交通の便の良いところということで、遠方からくる皆には来やすいところだったと安心したしだいです。

二日市温泉の宿泊する宿は、県下在住の女子の意見で、断然、「大丸別荘が良い」ということで決定しました。大丸別荘は、昭和天皇、中国の江沢民、美空ひばりなどとゆかりの深い宿というので有名です。値段も他の宿より少しお高くなっていました。

今回の参加者は女性21名、男性7名の計28名で、顔ぶれはだいたいいつもと同じでした。同窓会案内の返信の通信欄によると「まだ現役で責任ある仕事をしていて日程があわない人、親の介護や孫の世話で自由にならない人、体調を崩して参加できない人」も何人かおられました。

同窓会は、原田さんの乾杯で6時に始まり、しばらく食事と歓談をしたあと、一人ずつ近況を報告してもらいました。一線を退いて楽な仕事をしている人が多い中、まだ薬局を経営してバリバリ地域医療に貢献している中

村珠江ちゃんや菅原君など、頭が下がる思いです。学生時代控えめだった青野君は、いろいろな勉強会やボランティア活動をされている様子で、近況報告で話が止まらず原田さんに制止される場面もありました。あっという間に時間が過ぎ8時だったか9時だったか覚えていませんが、次回は長崎で2年後に開催することを決め、一次会が終了しました。

二次会は場所をホテル内のカラオケルームに移し、23名がまた盛り上がりました。宿泊は5～6名の相部屋で、そこでまた夜更けまで盛り上がったことと思います。翌日は、疲れてその場にて解散となりました。

2年後は、皆が65歳の高齢者に仲間入りする年です。健康に留意し、元気な姿でまた会いましょう。

#### 今回の参加者

木幡（下西）智佳子、小森（山本）弘子、伊藤（唐津）晶子、森下（内田）法子、井上（長尾）美津枝、古川（藤崎）美世子、佐々木（水津）公子、東（東森）秀子、國村（片桐）久子、植松（立川）律子、横田（佐々木）えり子、井上（深町）浩子、渡辺（今村）弘子、加川（廣谷）美登利、中村（伊藤）珠江、位田（添田）美代子、白木（原）陽子、藤内（今泉）久留美、久保（山本）雅子、松本（上村）和子、高橋（酒井）昌子、青野 真、平原裕久、藤原正晴、原田 均、菅原正典、寺田栄二郎、平田厚司



平成28年11月5日 於 大丸別荘

## 古川 淳先生米寿祝賀会

高田 充隆 (昭52)

平成29年10月7日(土)秋晴れの福岡博多(ホテルクリオコート博多)で、薬品合成化学研究室および薬化学研究室の同門の皆様が集まり、古川 淳先生(昭25)の米寿を祝う会が催されました。祝賀会は、世話人として労をお取りいただいた昭和47年卒の小寺 信氏、昭和50年卒の馬場満輝氏、増田和久氏、宮崎賢三氏のお陰をもちまして、古川先生の米寿のお祝いにふさわしい盛大な会となりました。また、当日は、木下敏夫先生(昭35)、故渡辺三明先生(昭42)の奥様の佳子様も出席され、古川先生の米寿をお祝いするとともに、いつまでもお元気で過ごしていただきたいという皆様の気持ちをお伝えすることができる会となりました。祝賀会の開会は12時でしたが、11時ごろには多くの方がお集まりになり、開始前から大変盛り上がっている様子でした。11時半から出席者の集合写真の撮影があり、そのあと開会となりました。

祝賀会は馬場満輝氏の司会で、新平孝一郎氏(昭47)の祝辞から昭和51年卒の松尾登紀子氏と黒田百合氏からの花束贈呈へと進み、その後、古川先生から皆様へのご挨拶がありました。古川先生はご挨拶の冒頭、渡辺三明先生がいないことが大変残念だと述べられ、さら

に林五郎先生(特)の思い出や研究室創設期の苦労やエピソードなどについて大変懐かしいお話をされました。その語り口調は、往年の古川先生そのまま、私にとっては、約40年の年月が一瞬に逆戻りするような感覚が蘇る瞬間でした。乾杯の後、出席者はそれぞれ古川先生ご夫妻の席を訪れ、懐かしい思い出話に花を咲かせ、ご夫妻との記念撮影など新たな思い出作りに余念のない時間を過ごしました。また、各テーブルでは、同年代の出席者が、それぞれ近況報告をし合うなど、情報交換の場になっていました。

あっという間の2時間半でしたが、14時30分に板倉忠則氏(昭49)の万歳三唱、小寺 信氏の閉会の挨拶で開会となりました。まさに、過ぎ去りし過去を想い、また、その時間を埋めることのできた2時間半でありました。このような貴重な時間を過ごすことができるのも、古川先生がお元気で過ごされ、卒業生たちがいつまでも慕い続けることができる恩師であるからだと思います。米寿は88歳のお祝いですが、90歳の卒寿、99歳の白寿のお祝いでも卒業生が集まることのできるよう、いつまでもお元気で過ごしていただきたいという想いを皆が抱いて閉会となりました。



平成29年10月7日 於 ホテルクリオコート博多

## 昭和52年卒第6回（卒後40年）同窓会報告

青野 拓郎（昭52）

2年前の第5回の長崎での同窓会において、広島で2年後に同窓会を開催することが決まりました。そして予定どおり11月11日（土）に「たまの」（ミシュランガイドで一つ星の評価を受けた和食のお店）で同窓会を開催しました。

今回初めての開催となる広島へ何名集まるか心配していましたが、数名のキャンセルが出たものの19名の出席となり、ほっと致しました。今回は、初参加が高岡君、松尾（旧姓：中川）さんの2名でした。残りはいつものメンバーという感じでした。

会食前に、2年前に預かってきた山崎さん（今回は欠席）筆の横断幕の前で記念撮影を行いました。松野君の乾杯の発声で会食が始まり、次々と出てくる美味しい料理でお酒も会話も進みました。持込可だったので、日本酒「七冠馬一番人気」、「王祿」、焼酎「魔王」を持込、日本酒派、焼酎派に分かれて飲んでいましたが、途中から両方飲んだりしていました。

近況報告に移り皆さんの話を聞いていると凄く盛り上がり、一次会の終了時刻をオーバーするほどの楽しい時間でした。

二次会は、「ピアノバー」という店で引き続き懇談となりました。次回の開催については、長崎で開催することが、この時決まったように思います。途中、日帰り組の

人達が退席しましたが、2時間ほどいろいろな話で盛り上がりました。お好み焼きを食べに行く三次会組とホテルへ帰る組に分かれ解散となりました。

翌日は、9名で原爆ドーム前から高速船で宮島へ渡りました。丁度運良く、干潮でしたので厳島神社の大鳥居まで歩いて行くことができました。大鳥居を背景に写真を撮ったり、厳島神社、紅葉谷公園、五重塔、千畳閣などを観光したのち昼食を取り、その後現地で解散となりました。

凄く楽しい二日間となりました。次回、長崎で多くの方にお会いできるのを楽しみにしております。

第1回（卒後20年）1997年10月18日（土）	
長崎「京華園」	（25名）
第2回（卒後25年）2002年 9月15日（日）	
福岡「稚加栄」	（33名）
第3回（卒後30年）2007年11月10日（土）	
長崎「ハウステンボス」	（30名）
第4回（卒後35年）2012年10月 7日（日）	
福岡「ホテルセンターザ博多」	（29名）
第5回（卒後38年）2015年10月11日（日）	
長崎「ホテルニュー長崎」	（34名）
第6回（卒後40年）2017年11月11日（土）	
広島「たまの」	（19名）



平成29年11月11日 於 たまの

後列左より 高田充隆、青野拓郎、高岡広明、川口純市、安河内一弘、光富吉朗、松野康二  
中列左より 井上（片山）圭子、渡辺（久家）真由美、佐藤（橋田）恵子、松尾（中川）由紀子、藤原（本多）由生子、  
田中（北村）知子  
前列左より 小林（湯浅）恵美子、坂田（諸橋）富美子、加藤照文、末安正典、田中（山本）由美子、北村良二

## 卒業35（+1）周年記念同窓会の開催について

山口 正広（昭56）

私たち、昭和56年卒業生は、卒業20周年記念同窓会を2001年（平成13年）2月に長崎市において開催して以来、5年ごとに記念同窓会を開催してきており、卒業25周年と30周年の記念同窓会は雲仙温泉（長崎県雲仙市）で泊まりがけの同窓会を開催しました。

そして、今年（2017年）7月16日（日）、1年遅れとなる卒業35周年記念同窓会を、長崎市内の料亭御宿坂本屋で午後5時30分より開催しました。

前回の雲仙温泉での同窓会の際に、同級生の皆さんから長崎市内での開催要望があり、今回は長崎市内での開催となりました。

今回の記念同窓会には、若干少なかったのですが、26名（薬学科10名、製薬化学科16名）の同級生の皆さんに出席いただき、遠くは千葉県から瀬戸（旧姓：佐藤）仁美さんに参加いただきました。参加いただいた同級生の皆さんには、長崎の郷土料理である卓袱料理をご堪能いただきながらご歓談いただきました。久しぶりにお会いする方々ばかりであり、また、初めて参加された方もおられ、昔話や近況などについて話が盛り上がり、予定していた2時間半があっという間に過ぎてしまったと感じられる同窓会となりました。

二次会は、時間が許す方20名ほどで長崎駅前のカラオケボックスに移動、学生時代の気分に戻って懐かしい青春時代の歌を歌ったり、みんなでワイワイガヤガヤと話をしたりと、楽しい時間を過ごすことができました。

そして、三次会は有志10名ほどで長崎駅前の居酒屋に行き、ますます気分は青春時代に戻って話が盛り上がり、気が付くと午前0時近くになったため、今回の同窓会での再会を誓い合いながら解散しました。

今回の記念同窓会は、1年遅れの35周年記念同窓会となりましたが、参加いただいた同級生の皆さん、誠にありがとうございました。また、残念ながら都合により参加できなかった同級生の皆さん、次回の記念同窓会に是非ご参加ください。次回の卒業40周年記念同窓会は2021年頃に計画したいと思いますので、楽しみにしてお待ちください。開催場所については未定ですが、お店等の手配のお世話をしてもいいですよという方がいらっしゃれば、長崎以外の場所での開催も検討したいと思います。

なお、今回の参加は、以下のの方々です（敬称省略、括弧内は旧姓）。

薬学科：道津（青山）靖子、瀬戸（佐藤）仁美、辻 俊彦、宮永（寺田）茂子、峯松（戸野本）恵子、松永（富永）安子、中西健二、梶原（林田）美紀、平坂（平坂）治子、川邊（和田）智子

製薬化学科：石居敏文、上島泰二、福重（上村）弘子、久保正樹、七種 均、瀬戸（佐倉）久美子、江本（嶋田）佳子、杉山 翠、都知木陸、八田 章、永田（稗田）厚子、植田（藤井）龍子、藤本久美子、岩下（峰）由紀子、山口正広、田村（山田）愛子



平成29年7月16日 於 坂本屋

## 薬化学教室同窓会

高良 真也（昭57）

昨年末の富永先生（昭44）の「みんなに会いたいなあ」の一言から企画した、薬化学教室同窓会でした。勝手な判断で、昭和41年卒～平成13年卒の皆様を中心に案内を差し上げましたが、新年度始まってすぐの時期にもかかわらず、沢山の方々に参加頂きました。

場所は佐賀県鹿島市「割烹 清川」。予定時刻前には全員お集まり頂き、開会前からあちこちで話に花が咲いていました。心配された空模様も問題なく、開会前の屋外での記念撮影もてきぱきと進みました。会場の「松の間」は、69名（「隠れ薬化」数名、子供3名を含む）の参加者で一杯になりました。

開会に先立ち、3月にお亡くなりになった故小林五郎教授の奥様百合子様の訃報をお伝えすると共に、物故者へ黙祷致しました。最も遠い長野県から参加頂いた木下様（昭44）のご挨拶で開会し、途中、都知木さん（昭56）のブレイクタイムも挟んで、現在薬学部在職の萩森君（平13）による閉会の挨拶まで、楽しい時間を過ごすことが出来ました。予想以上に酒量は落ちていましたが、午後0時30分から4時近くまで笑顔が絶えることはありませんでした。

「百聞は一見にしかず」次の写真から会の雰囲気を感じて頂きたいと思います。







平成29年4月9日 於 鹿島市「割烹 清川」

今回はもっと若い人達（現役？）とも一緒にやりたいとの意見も聞かれました。次の幹事さん、頑張ってくださいね。

今回、教室単位での集まりは、意外と身近に先輩後輩

がいることを知る機会にもなり、支部ごとの同窓会にも良い影響を与えるのではないかと感じました。支部同窓会と同様に研究室単位での集まりにも、長薬同窓会としてお力添え頂けたらと思う次第です。

## 平成29年紫陽会を開催して

宇佐美 めぐみ（昭60）

紫陽会とは福岡県在住の女性卒業生の同窓会です。かれこれ40年もの間細々と続いています。今回は4年ぶりの開催となりました。

7月2日の日曜日、天神スカイホールのレストラン「ル・ブション」で12時からの開催でした。出席人数は25人でしたが、様々な年代の方々に出席していただき、和やかな会となりました。

80歳で現役薬剤師を続けていらっしゃる安永さん（昭34）に大いに勇気づけられ、漢方の専門薬局を開局した左方さん（昭63）に皆でエールを送りました。他にも、仕事、家事、介護とそれぞれ奮闘しておられ、共感が持てるお話ばかりでした。

この様に、年齢を超えて女性同士で人生を語り合える紫陽会は貴重な会だと改めて実感いたしました。

今回は告知の努力不足で、出席者が少なく残念でしたが、次回はぜひ若い世代の方々にも出席していただきたいと思います。色々な方のお話を聞き、おしゃべりをする中で、今抱えている女性ならではの悩みを解決でき

るヒントも見つけられると思います。

前回に引き続き今回も、私たち昭和60年卒有志が幹事を務めました、初めは気が重かったのですが、同級生と一緒に準備を進めていく間に、友人たちと新たな絆をつなぐことができました。会場の下見と称して何度か集まってはおしゃべりに花が咲き、原田さんのお宅で案内状を作成するために新幹線で小倉まで行った時はプチ旅行のような盛り上がりでした。

皆さん、面倒くさいと思うこともあるでしょうが、学生時代とは違う友情を築く素敵なきっかけになると思うので、幹事を引き受けた際は、どうぞよろしく願います。

また、次回の幹事は若い徳永類子さん（平1）、松尾緑さん（平15）、池田久美子さん（平17）にお願いすることにしています。福岡県内の女性同窓生のみならず、連絡がありましたらぜひぜひ出席と返事をして紫陽会を盛り上げていきましょう！

## 突然ですが、集まりました。

塩田 英雄・山口 綾子（昭60）

皆様お元気でしょうか。塩田英雄と山口（村島）綾子です。

2年前に同窓会の学年理事を各学科から出すということで、私（山口）のところにあなたが選ばれた（?!）と通知が来ました。え～と思いましたが、それなら何かしたいなと思い、2020年東京オリンピックの年がちょうど卒業35年であると気づきました。

塩田君にさっそく連絡を取り、どうしたものかと相談しました。とりあえず、長崎市、諫早市の方に集ってもらい、どこで、どのようにしたらいいか意見が聞けたらなと思いました。次男のママ友のご縁で大木（近藤）薫さんと連絡が取れ、相談しましたら、さっさと事を運んでくれて、平成29年5月28日（日）長崎市縁粹にて、昼食会が実現しました。お忙しい中、9名の参加をいただきました。

前列右より、上林（岩永）知子さん、塩屋（吉田）広美さん、大木（近藤）薫さん、平井（植田）美穂さん、後列右より、塩田英雄さん、大山章久さん、山口、三根（田中）由美さん、坂井（谷川）明美さんです。

長崎市諫早市中とはいえ、皆さん久しぶりとのことで、近況報告しあい、あっという間に時間が過ぎました。

肝心の2020年同窓会については、9月のシルバーウィークのころかなという話になりました。場所については、福岡という線も上がっており、また、集まりを企画し、具体的にしていけたらなと思っています。長崎諫早の皆様、よろしく願います。

東京出張で欠席だった坂井（上野）詠子さん、声をかけたものの当番薬局だった島原の吉田恵美子さん、そして、日程があれば県北の方も声をかけたいなと思っています。その時はよろしく願います。





## 甲斐雅亮 教授 退職記念祝賀会

梶島 力 (平4)

甲斐雅亮教授は、平成29年3月31日をもって本学を定年退職されました。

甲斐先生は、平成10年に長崎大学薬学部教授として赴任され、以来19年間に渡り機能性分子化学研究室を主宰してこられました。その間、機能性分子化学研究室からは、約90名の学部生が卒業し、39名が博士前期（修士）課程を修了、14名が博士号を取得するなど、多くの学生の育成にご尽力されました。この中には、中国、ケニヤ、バングラデシュ、コソボ、エジプトからの留学生が含まれており、さらに、タイ、ポーランド、ジョージア、イランなどからの研究者の受け入れなど、本学の国際交流にもご尽力されました。

また、優れた研究業績を挙げられるとともに、日本分析化学会理事、日本分析化学会九州支部長等を歴任され、学会活動においても指導的な役割を果たされました。さらに、大学の運営におきましても、各種委員会の委員長及び8年間にわたる副研究科長の重責を担い、多大な貢献をなされました。

甲斐先生のご退職にあたり、3月9日に薬学部多目的ホールにて最終講義を、3月18日に長崎ワシントンホテル

にて祝賀会を開催致しました。祝賀会には多数の同門生が参加し、国内のみならず中国やコソボからも駆けつけてくれるなど、甲斐先生のお人柄がわかる会となりました。進行（私）は、ほぼノープランでしたが、柴田先生や在校生のおかげで盛会のうちに終えることができました。参加者の皆様も含め、この場を借りて御礼申し上げます。

甲斐先生は4月から長崎大学薬部部の非常勤講師として、学生の教育にあたられております。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、先生の今後の御健康を祈念致します。

追伸：

私事ではございますが、4月より長崎国際大学薬学部へ赴任しました。長薬同窓会の皆様には、一層お世話になることと思いますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。また、本学には、学長の中島憲一郎先生（昭46）や学部長の榊原隆三先生（院昭50）をはじめ、長薬関係の先生が多数いらっしゃいます。ハウステンボスにも近いことですので、お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。



平成29年3月18日 於 長崎ワシントンホテル

## 平成5年卒 同窓会

小嶋 健一郎 (平5)

平成29年11月4日(土)、長崎市の中華街にて平成5年卒業生同窓会を行いました。

私たちの学年では、毎年恒例の同窓会となっています。昨年、福岡で開催した折に、来年は25回目という節目でもあるので、長崎での開催がよいとのリクエストがあり、長崎在中の森本君と私が幹事を引き受けることになりました。

例年の同窓会は、温泉宿での開催が多く、その時は10名前後といった規模ですが、今回は24名(そのうち2名は二次会・三次会より参加)の多数の同窓生が集まりました。

会は森本君の乾杯の音頭でスタートしました。会うのは十数年ぶりといった人、今年も会えた人、先月も飲んだよねといった人、いろいろな面々がいましたが、学生時代の懐かしい話、仕事のこと、子育て大変話などで盛り上がり、あっという間に時間が過ぎて一次会が終了しました。

皆さん話し足りなかったみたいで、脱落者なく二次会カラオケに突入となりました。岡田君の「雨あがりの夜空に」を聴いていると、学生時代、薬学祭でのブルマン

のライブパフォーマンスが思い出され、少しだけ若返った気がしました。来年もまた聴きたいな、よろしく！！

その後は、三・四次会まで盛り上がりました。四次会まで残った10名はお疲れ様でした。翌日、「四次会の記憶がないのだけど…」という電話もありましたが、皆さんはちゃんと帰れましたか？

今回、残念ながら参加できなかった方たちも、来年も同窓会はありますので、是非前向きに検討してみてください。皆さん学生時代と変わらない感じなので、安心して参加できますよ。

来年の幹事は中村さん・津田(柳原)さん・後藤(吉田)さんの女性陣、来年も長崎開催と宣言していましたので、女性陣のネットワークを駆使して30名越えを目指してほしいです。

ちなみに今回の参加者です。(敬称略・すべて旧姓)  
岡田、賀川、川留、木村、倉地、小嶋、佐野、鶴丸、豊嶋、中村、野上、野田、藤井、前田、升永、松葉、松原、松元、森(浩)、森本、柳原、山口(幸)、山田、吉田



平成29年11月4日 於 中華菜館 春夏秋冬

## 5年前の同窓会の思い出と近況報告

梅北 修一（平11）

皆様ご無沙汰しています。平成11年卒の梅北です。突然ですが、たいして面白くない文章なのに、「(笑)」ってつける人いますよね？例えば、「ビシッとスーツで決めてみました(笑)」みたいな。そのどこに笑いの要素があんねん！と突っ込みたくなりますが、今回原稿依頼を受けたからには、そういうことにならないよう気をつけて書きたいと思います(笑)。

平成11年卒のメンバーで同窓会をしたのは、今から5年前のこと。現役なら36歳の2012年の同窓会に参加しました。福岡での開催で、20名ほど集まりました。当時硬式テニス部に所属し、テニス部以外の方々とあまり仲良くはなかった僕は、招かれざる客になるのではないかと心配しての参加でしたが、学生当時はあまり話したことも無いような人とも話ができたりと、とても盛り上がりました。12年ぶりに合う面々でしたが、みんなあんまり変わらないなあという印象でした。1次会が終わり、2次会も行って、3軒目は駅前あたりのラーメン屋に行きましたね。友人A氏は眠くなったとのことで帰宅し、もう一人は、「今日はハメをはずす」と言って夜の街に消えていくので、どんないかがわしい店に行くのかと思いつくと、「映画を見に行く」とのこと。なんて健全なんだ！とその当時は感心したものだが、その後、2人の娘の父親になった今となっては、そのときの友人の気持ちがよく分かる！子供が小さいと、見たい映画を一人でのんびり見に行く…ようなことはなかなか出来なそうですよね。

子供のことについて少し書きますと、その同窓会があった2か月後に長女が生まれました。その日は仕事から帰ると、奥さんがもう生まれそう、と言うので、僕が車を運転して急いで病院に連れて行かないといけないのですが、家を出たところで不覚にも泣いてしまい、「涙で前が見えない」とか言って、もうすぐ生まれそうな妊婦の奥さんに、大丈夫？と逆に心配されてしまいました。その後、次女も生まれて、今は5歳と3歳の2人ですが、まあやかましいです。仲良くしててもやかましいし、喧嘩しててもやかましいし、静かなのは寝てる時だけ。姉妹とはこんなにもやかましいものなのかと戦々恐々としております。何故かパパ大好き子に育ってくれ、休みの日にテニスにでも行こうもんなら、「行かないで」「お父さんと一緒にいたい」、しまいには「テニスなんてやめ

て」、なんて言われる始末。泣きすぎる我が子を振り払って、かなりの罪悪感を感じながらテニスへ。そんな感じで、週1回程度のテニスは続け、なんとか現状維持。そのおかげで硬式テニス部のOB戦では、現役の後輩たちと互角の勝負が出来ているのかなと思います。

また、硬式テニス部のOB戦には、雨でボーリング大会になった年以外は毎年参加していきまして、皆勤賞と言ってもいいくらいです。誰よりもOB戦に参加しているOBかもしれません。現役生からしたら、毎年OB戦に来ているそこそこテニスの出来るおじさん、くらいの認識かもしれませんが。現役生たちとは年に1回しか会わないので、テニスの上手な子が新入生に入ってきた。かと思えば、翌々年には部長などになっており、いい勝負をしたので「また来年も試合しようで！」とか話したら、「来年はもうOBです」とか言われる始末。学生当時感じたことのなかった時間の流れを感じております。

ちなみにですが、梅北今どこで何してんの？と思う人もいるでしょうから、近況報告しておきますと、大学卒業後も長崎におりまして、長崎市大浦の薬局にて働いています。グラバー園や大浦天主堂などがある観光地の近くですので、近くにお立ち寄りの際はぜひ遊びにきてくださいね。思い返せば大学4年生のとき、薬剤師国家試験の半年前の模試の結果が、学年最下位だった時は体が震えるほどの衝撃でしたが、その後推定トップレベル(?)で国家試験に合格し、なんとか薬剤師をやっています。毎日いろいろなことが起きますし、新しく知ることでもたくさんあります。少し前ですが、処方箋にカット絆と書いてあって、患者さんに「カットきずな」と説明していたら、ものすごく怪訝な顔をされました。カットバンと読むんですね。

前回の同窓会から5年経ち40歳オーバー、そろそろ次回の同窓会があるのでは？なんて期待したりしています。その時は、前回を上回る人数が参加してくれたら嬉しいなあと思う今日この頃です。そして先ほどテニス部のOB戦には皆勤賞と書きましたが、今年は他に出たい試合があったので参加できませんでした。来年は参加すると思いますので、その時はよろしく願います。今は場所が大学敷地内コートから屋根付きの松山コートになったので雨天中止もありませんし、OBのみんなも是非参加してほしいと思います。

## カリフォルニア留学から帰国して

稲嶺 達夫 (平18)

平成26年10月から昨年9月までの期間、所属する長崎大学薬学部及び薬物治療学分野のサポートを受けて、アメリカ合衆国カリフォルニアに研究留学に行かせて頂きました。留学のすすめではありませんが、留学体験記を兼ねて近況報告を書くことにします。

私が留学していたのは、カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部のBernd Schnabl博士の主宰する研究室でした。アメリカで戸惑った習慣の一つがお互いをファーストネームで呼び合うことなのですが、それに倣って、ここでもBerndと呼びたいと思います。Berndは慢性肝疾患と腸内細菌との関連を研究しており、その分野では若くして著名な研究者でした。当時、Berndのラボには、スペイン、ドイツ、スイス、中国、台湾等様々な国からポスドクが集まっていました。彼らとは、互いの研究内容について討論し、新しい(往々にして突拍子もない)アイデアを交換し、互いの国の歴史や文化を共有し、時には異なる価値観について踏み込んだ会話をしました。同世代で、同じような志を持った、様々な背景を持つ仲間と切磋琢磨した経験や彼らとの繋がり、留学で得た最も大きな財産だと感じています。

留学中、幸運なことに多くの魅力的な研究に関わらせてもらいましたが、「アルコールによって腸内の微生物がどのように変化し、どうやって肝障害が起こるのか」という研究テーマについて少し紹介したいと思います。これまでのBerndの研究から、大量のアルコールを摂取すると腸内の細菌の数が増加し、また、腸管から漏れ出したLPSという細菌由来の物質が門脈を介して肝臓で炎症を惹起することが分かっていました。一方で、腸内細菌が注目を浴びる中で、少数派ながら腸内に存在する真菌についてはほとんど注目されていませんでした。

最初の発見は、長期間アルコールを摂取したマウスの糞中の真菌数が多くなっていたことでした。この増えた腸内真菌がアルコール肝障害に寄与しているならば、腸内真菌の増加を抑えれば肝障害は良くなるはずです。そこで、抗真菌薬のアムホテリシンBをアルコールと一緒に経口

で投与し、肝障害への影響を見ました。薬学的な話をする、この実験のポイントは抗真菌剤としてアムホテリシンBを使うことにあります。ご存知のように、アムホテリシンBという薬は効果が抜群な反面、副作用も多く、かつ吸収が非常に悪いという扱いづらい特徴を有しています。しかし、今回、経口摂取では吸収されにくいアムホテリシンBの特徴は、腸内の真菌だけを全身の副作用なく狙うには非常に都合が良かったのです。効果は劇的で、アムホテリシンB投与群ではアルコールによる肝障害やそれに関連する炎症反応がきれいに抑制されていました。この発見をベースに、真菌を認識する分子を欠損させたマウスなどを使ってさらなる検討を重ねて、今年の春に成果を論文として発表することができました。恐縮な話ですが、関連する分野においてはそれなりに反響もあり、困難も多かったですが非常にやりがいのあるテーマでした。他にも腸内微生物関連の様々なテーマに関わることができ、これらの体験は私の今後の研究活動の柱になるものと感じています。

カリフォルニアでの生活はというと、貧乏ではありましたが、家族3人(途中から4人)で協力しながら充実した時間を過ごすことができました。全米でも有数の観光地であるサンディエゴは、美しい海岸線や全米最大級の動物園San Diego Zooなどがあり、家族で過ごすには最高の土地でした。また、バーベキューパーティーやクリスマスパーティーなどは基本的に家族ぐるみやパートナー同伴であり、家族で何かをする機会がとても多く父親としても貴重な時間を得ることができました。

結果だけみると順風満帆な研究生生活ですが、良いデータが出ない期間の方が長く、焦りや不安に駆られそうになることも多かったのが実際のところでした。そんな心が折れそうな時、家族やポスドク仲間、いつも快晴のサンディエゴの空が気持ちを盛り上げてくれました。ポスドクを陽気に前向きにしてくれるサンディエゴの空と、多くの方々の支援に改めて感謝しつつ、今後の研究教育に益々励んでいきたいと思っています。



友人家族とのピザパーティーにて

## 近況報告（ポストク生活1年目 in Texas, USA）

小嶺 敬太（平24）

2017年4月25日、私は日本を離れ、ポストク先であるBaylor大学（Waco, Texas, USA）に向かいました。『ラボの仲間とコミュニケーションがきちんと取れるのだろうか』、また『ポストクとしてやっていけるのだろうか』といった不安が多少ありましたが、『なんとかなるだろう』と思い新天地に向かいました。経由地であるダラス空港に到着した私は、昼ごはんを購入しようと思い、マクドナルドに入りました。しかし思うように注文ができず、全く違うものが出て来たときには、心配していたことが現実になり、かなり心が折れました。

そのような出来事がありながらも、目的地であるWacoに到着しました。Wacoはテキサス州の田舎町であり、ヒューストン～ダラス間に位置します。気候は暑く、真夏になると40℃を超える土地でした。Baylor大学はそのWacoに位置しており、1845年に設立された歴史ある大学です。

留学先のJohn Wood研究室は、天然物の全合成を行っており、斬新な方法を基軸とした合成研究を行っております。Wood研には、大学院生が8人、ポストクが8人在籍しております。皆、研究に対するモチベーションは高く、いつでも活発にケミストリーを討論します。この環境は、私が望んでいた環境でもあったので、私にとって大変刺激的ないい環境でした。またラボのメン

バーは優しく、私の拙い英語を聞いてくれました。彼らのおかげもあって、英語は徐々に上達してきており、当初懸念していた不安も今では全く感じなくなりました。

アメリカに来てから、様々なカルチャーショックを経験しました。その一部を挙げたいと思います。

1. 野良猫ではなく、野良リスがたくさんいる。
2. スーパーがかなり大きい。(約50種類のビールを置いている)
3. 食料品が安い（お肉は日本の半額程度。水500ml×24本がなんと2ドル!?)
4. プール付きのアパートが数多くある。
5. お菓子が異常に甘い（テキサスは特に甘いらしい）

まだ留学の途中ですが、今回の留学を通して視野が広がったと思います。私の中での“当たり前”は留学先では“当たり前”ではない、といった経験が多々あり、大変いい機会でした。

最後に、この留学に関してご助言を頂いた恩師である畑山 範教授、石原 淳教授に心より厚く御礼申し上げます。公私にわたりご助言をして頂いた先生方に深く感謝いたします。また、今回は日本学術振興会特別研究員として留学したものであり、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

## 卒業後2年の節目におけるクラス会の開催

原口 綾奈（平25）

私は、医歯薬学総合研究科に所属する博士課程3年の原口と申します。普段は、川上教授のもとで、遺伝子デリバリーに関する研究を行っています。まだまだ若輩者ではございますが、このように寄稿する機会を与えていただき、大変感謝申し上げます。

私の学年では、平成27年3月に6年制の学士を卒業または博士後期課程を修了し、就職や進学など、各々の道に進みました。皆、全国各地に散り散りになっており、中々集まることはできませんでしたが、卒業から2年後の今年3月に、濱崎久司、執行康平の両名が幹事となって、クラス会を開催する運びとなりました。幹事としてこの会を仕切ってくれた二人には、心より感謝申し上げます。仕事の都合などで全員の参加は叶いませんでしたが、それでも学年の半数にあたる22名が参加し、学年の仲の良さを改めて感じました。

会うのが卒業以来という人もおり、クラス会はなんとなく気恥ずかしい空気の中、互いの近況報告から始めました。お酒の力もあったかもしれませんが、時間が経つにつれ、学生の頃に戻ったかのように打ち解けることができ、思い出話に花を咲かせました。途中、幹事の執行くんが、隣に居合せた家族の子供に懐かれるなどのハプニングもあり、笑いの絶えない楽しい時間を過ごすことができました。

話し足りないことはたくさんありましたが、週末の休みを利用して長崎に戻ってくれた人もいて、一次会は盛況のうちに解散しました。後ろ髪をひかれつつ、いつかまた集まれることを信じて、家路につきました。これからも、同学年の仲の良さを保っていきたいと感じた一夜でした。



平成29年3月18日 於 登利亭

上段左から 松尾, 岩田, 三浦, 熊谷, 荒田, 仮屋, 森田, 古場, 松本, 前田, 江良  
 中段 上村, 吉田, 小林, 金子, 岩崎, 北岡  
 下段 執行, 濱崎, 原口, 寺田, 堀

## 近況報告

林田 颯志 (平28)

長薬同窓会報第57号の発行にあたり、昨年にひきつづき近況報告をさせていただきます。

私は大学卒業後、長崎市に残り、長崎みなとメディカルセンターで勤務しています。1年以上の時間が経ちましたが、走ることが趣味の私は相変わらず長崎大学付近をランニングコースとしていますので、在学生のみなさんはもしかしたら見たことがある人もいらっしゃるかもしれません。私を知る方々へ、私は元気でやっております。

それはさておき私は、病院薬剤師として2年目に突入しています。1年目は調剤業務を中心に上司や先輩方のご指導を受けながら、正直学生気分もなかなか抜けなまま業務をおこなってきました。現在、学生から社会人になれたかという全然そんなことはないと思いますが、少しずつ社会の仕組みや病院の運用、働くという事を教えていただき、考えていく中で、学生の時の考え方とは変わり、自分の行動に責任をもたなければいけないことを感じる毎日です。2年目の今は病棟も担当させて頂いており、患者さんをはじめ、医師や看護師、他の職種の方と話すようになってきました。そのような中で、

様々な視点や考え方を学ぶことも出ています。薬剤師としての自分の提案が、長崎大学で学んできたことが、実際に患者さんへの薬物療法へ反映されることは嬉しいことでもありますが、同時に勉強不足が患者さんの不利益につながることになるので生涯研鑽が本当に必要不可欠だと感じます。1つ下の新人薬剤師も入局しているため、手本となれるような薬剤師になるためにこれからも頑張ります。

プライベートな面では、冒頭で述べたように長崎大学在学中から始めたランニングも継続して続けています。10kmほどの距離を2日に1回程度走っていますが、1日の出来事を整理し、次に何をしようかなど考えたり、考えなかったりしながら、1人で楽しく走っています。練習やトレーニングというよりは、おいしいお酒を飲むため、スッキリ寝るために走っている感じです。足も強くなり、体力もつくので余力のある方は是非ともお勧めです。ここまでいうと、寂しい男に見えるかもしれませんが、そんな私にも長崎大学で得た仲間がいます。毎年五島市で開かれる「五島夕やけマラソン」には大学時代の



同級生や先輩や後輩と毎年出場しており、今年は5年目でした。普段会わない仲間と再会できるこのイベントは、マラソンもそうですがそれぞれの近況や懐かしい話ができるいい機会となっています。このイベントは足が動かなくなるまではずっと続けていこうと思います。五

島はいいところです。あ、もちろん長崎大学もとてもいい大学ですね。これからも、長崎大学での思い出やつながりを大事にしていきますので、今後ともよろしくお願ひします。



平成29年8月26日（第5回目）



平成27年8月29日（第3回目）

## チュラロンコン大学への短期留学を終えて

片山 史博（平28修2）・丸山 洋子（平28修2）・大園 侑花（平29修1）

9月11日から21日までの10日間、タイのチュラロンコン大学への短期留学プログラムに参加させて頂きました。留学プログラムでは、大学内外の施設の見学や、現地の学生との交流を行いました。

まず、タイの古都アユタヤに行きました。大きな涅槃像のある寺院や、戦争によって破壊された壁、頭が切り落とされた仏像がそのままの状態に残されている寺院など、4つの寺院を巡りました。寺院を見ながらタイの歴史や宗教、戦争の話を聞いて、もっとタイについて深く知りたいと思いました。

その日の午後、タイの国営製薬企業であるGPOを見学しました。カプセルやタブレット製品が主流で、タイ国内のすべての病院や薬局がGPOの薬を使用していました。GPOの女性社長は非常にパワフルな方で、研究所

で用いる水へのこだわりや、新薬開発へ熱意を力強く伝えてくれ、私たちの質問に対しても非常に丁寧に答えてくれました。

また、バンコクにある赤十字社へも訪問しました。タイ国内唯一の赤十字社で、製造や管理においては日本と大きくは変わりませんでしたが、働いている女性社員の多さに大変驚きました。後日、その赤十字社が運営を行う毒蛇博物館の見学も行いました。生きている蛇や剥製の蛇、蛇の臓器や卵などが展示され、蛇の生態や蛇毒の恐ろしさを知ることの出来る迫力満点の博物館でした。

週末は、学生の方々にタイの寺院と有名なマーケットへと連れて行って頂きました。寺院の説明や参拝の仕方まで丁寧に教えていただき、ガイドブックには載っていないことも知ることができました。また、タイの方の国王に対する信仰心の厚さと、服装についても全身黒を着用していたことは特に私たちの印象に残りました。マーケットでは、お土産・日用雑貨・食材など様々なものが安く売られており、マンゴーやマンゴスチン、ドリアン、ランブータン（タイではンゴと呼ばれ



る)などを食しました。歴史だけでなくタイの食文化についても触れることができた週末でした。

チュラロンコン大学では学部生の学生実習や研究室のセミナーに参加しました。

学生実習では、実験の目的や操作の手順、研究に関する説明は全て英語で行われていました。現地の学生と英語を通して説明し、また確認することは非常に難しいことでしたが、英語でコミュニケーションを取ることができたときはとても嬉しく、自身の英語が伝わった時の喜びを感じました。また、TAの方に大学の博物館を案内して頂きました。チュラロンコン大学の博物館はとても広く、動物、ヒト、虫など様々な展示物が置かれており、さらに大学の歴史も学びました。薬学部所有の博物館では、タイの伝統的な薬について説明を受けるだけでなく、お互いに現在取り組んでいる研究について説明し合うことができ、普段出来ない体験となりました。

チュラロンコン大学の先生、学生、ドライバーさん、施設のスタッフなど多くの方々のお陰で無事に交換留



学を終えることができ、英語にもっと取り組むなどそれぞれの課題も見つけることができました。帰国後もSNSを通じて交流を続けており、来年1月にはタイより交換留学生が来るとのことで今から楽しみにしています。

(感想)

・タイでは歴史的な建築物が綺麗に保存されており、また建物には国王の写真が飾ってありました。この事から人々が歴史に対して普段から感謝していることが伺えました。これは日本ではあまり見られない素晴らしい点だと感じました。(片山)

・今回タイへは初めてだったので、不安なこともあったのですが、大学の先生や学生の方々がとても親切で、何事もなく留学を終えることができました。日本とは異なったしきたりや礼儀作法、食文化など多くのことを教えて頂き、とても学ぶことの多い経験となりました。また機会があればぜひタイに行きたいです。岸川先生や学務の方々、片山君、大園さん、関わって下さった多くの方に感謝致します。(丸山)

・今回の留学は、私にとって本当に素晴らしい経験になりました。タイの創薬研究を学び、自分の英語力を試せただけでなく、タイの学生や先生方の温かい心遣いを感じる事が出来ました。一緒に参加した先輩方、岸川先生、この交換留学への参加を後押ししてくれた友人、先生方、学務の方々、同窓会、そして、最も背中を押してくれていた家族に感謝したいです。(大園)

最後になりましたが、薬学部創立125周年記念事業の寄附金(同窓会のご支援)により、このような貴重な経験をすることができ、改めて感謝と御礼を申し上げます。この交換留学がこれからも続いていくことを心から願っております。

## 台北医学大学臨床薬学トレーニングプログラムに参加して

川口 真帆（平29修1）・平井 真智子（学部5年）

私たちは、7月31日～8月4日に台北医学大学臨床薬学トレーニングプログラムに参加してきました。本プログラムでは、病院の薬剤部や地域薬局を見学したり、台北医学大学の研究室の学生さんたちと交流したりしました。

病院・薬局では、台湾と日本の医療制度の違いについて学ぶことができました。台湾では全国民が加入している公的医療保険によって安価に医療を受けることができ、また、ICカードタイプの保険証を利用して薬歴や疾患に関する医療情報をクラウド上で管理しています。現在、日本ではお薬手帳が使用されていますが、この保険証による医薬品の一元管理は魅力的に感じました。また、台湾の処方箋には診断名が記載されており、限られた時間でより適切な薬剤管理指導ができる点でよいのではないかと思います。一方で、安価に医療を受けることができるために、病院に患者さんが



集まりすぎるといった問題点があることを知りました。このように台湾の医療と日本の医療の違いを知ることで医療制度について考える良い機会になりました。

研究室では、学生の英語のレベルが非常に高いということが印象的でした。英語が話せて当たり前という環境で、留学生とも日常会話から研究内容まで英語でコミュニケーションを取ることができました。さらに、研究室の方々には親切にいただき、友達になることができ、もっと色々な会話をしたいと思うとますます英語の学習意欲が湧きました。

（感想）

・海外の薬局・病院・研究室を訪問するという貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。日本との違いは新鮮で、とても面白かったです。また、現地の学生さんと友達になって、台湾の文化・生活について知ることができ、良い思い出となりました。今回の経験を今後活かしていきたいです。（平井）

・本プログラムを通して、台湾の医療について学ぶことで日本の医療についても考える良い機会となっただけではなく、台湾での交流から新たにその文化を学ぶことができ、また、台北医学大学の学生さんの英語力・コミュニケーション能力の高さに非常に刺激を受けました。貴重な経験をさせて頂いてありがとうございました。（川口）

最後になりましたが、今回このような貴重な経験ができたのは、薬学部創立125周年記念事業の寄附金からの補助を受けることができたおかげです。この経験を将来に生かせるよう励んでいきたいと思っています。



## グビロが丘下の薬専防空壕跡地の慰霊碑周辺の清掃活動

千賀 健司 (学部4年)

平成29年8月6日、13名の学部学生・院生、16名の卒業生・役員・事務局の方が、16回目となるグビロが丘下の薬専防空壕跡地の慰霊碑周辺の清掃活動を行いました。

今年は台風が接近し、大雨や強風が心配されましたが当日は天候が回復し時より風が吹く中、草むしりや落ち葉拾いといった作業を1時間ほど行った後、同窓会長の山中先生、副会長の中嶋誠一先生の挨拶のあと、記念撮影を行い慰霊碑に線香をあげて犠牲となった先輩方を追悼しました。

私は今回で4回目の参加となり、もうすっかり毎年恒例の行事となっております。普段の生活ではどこか遠くのことになる72年前の出来事も、8月になればここ長崎では考える機会多いと感じます。今回、防空壕跡地や慰霊碑周辺の清掃を行い今でもこんな身近に「戦争」を

感じることができる場所が残っていることを認識すると同時に、今の私たちがいかに恵まれた環境で勉学に励んだり、豊かな生活をしているのだろうか感謝することができました。

清掃活動を終えた後は、近く中華料理店で参加された方々と会食をしました。最初に川上教授に薬学部の歴史および、防空壕跡の慰霊碑建立の経緯や今後の継承について話をさせていただきました。普段合うことのできない方々ともお話することができ、とても有意義な時間となりました。

最後になりましたが、ご多忙のところ時間を作って参加して下さった皆様、天候の悪い中本当にお疲れ様でした。また、何年にも渡って活動が続くことを願っています。





# 2017年九州薬学連盟大会結果

岡見 和哉 (学部3年)

本年度5月に行われました九州薬学部連盟による大会結果を報告いたします。応援していただいた皆さん、本当にありがとうございました。長崎大学薬学部は優秀な成績を収めることのできたサークルが多く、今後ますます盛り上がっていききたいものです。

また、熊本震災を受け2年ぶりの大会となったサークルもあります。試合を通して他大学また社会人の方とも交流を深めることができました。

遠方より応援に駆けつけてくださった先輩方、保護者の方々、ありがとうございました。

## 硬式テニス部

男子

優勝

予選	長崎大	6 - 1	長崎国際大
	長崎大	4 - 3	福岡大
準決勝	長崎大	4 - 1	九保
決勝	長崎大	4 - 0	福岡大



女子

1日目	長崎大	3 - 4	長崎国際大
	長崎大	4 - 3	熊本大
2日目	長崎大	4 - 0	福岡大
	長崎大	0 - 4	崇城大
	長崎大	1 - 3	長崎国際大



## 野球部

3位

準決勝	長崎大	8 - 9 ×	福岡大
3位決定戦	長崎大	12 - 1	長崎国際大



## サッカー部

3位

予選第一試合	長崎大	3 - 0	第一薬科大
予選第二試合	長崎大	1 - 1	熊本大
準決勝	長崎大	0 - 1	福岡大



## バスケットボール部

3位

1日目	第一試合	長崎大	73 - 57	第一薬科大
	第二試合	長崎大	55 - 56	福岡大
2日目	長崎大	50 - 80	熊本大	





## 第53回薬学祭について

薬学部自治会会長 岡見 和哉（学部3年）

2017年11月3日～4日に第53回薬学祭が開催されました。運営に際し、長薬同窓会様から多くのご支援を頂き、充実した学祭となりました。ご協力頂いた方々に深く感謝申し上げます。以下、各種企画の様子をお知らせいたします。

### 3日（金）

- ・サークル模擬店：多くの方に訪れて頂くことが出来、すべてのサークルが成功を収めました。
- ・お茶会：薬学部の方を初め、外部の方にもたくさん来て頂き、茶道の良さを伝えることが出来ました。
- ・Bluemountainライブ：あふれんばかりのエネルギーで、とても活気に満ちたライブとなりました。
- ・球技大会1日目：同窓会杯球技大会としてバスケットボール、バレーボール、ソフトボール、フットサルの試合が行われました。研究室チーム、学年チーム、教員チーム等が入り混じり、各種種目で白熱した試合となりました。

### 4日（土）

- ・1年生バザー：1年生が8班に分かれて、出店しました。企画から準備や片付けを通して、計画力を身に付けることが出来たようです。また、先輩や教職員、外部の方と交流を深めることが出来ました。
- ・お笑いライブ：各種サークルから精鋭が集い、練り上げたコントで会場を大いに沸かせました。
- ・自治会出し物：ダンス、ビンゴゲーム、ロシアンルーレットを行いました。ビンゴゲーム、ロシアンルーレットでは多くの方に参加していただきました。
- ・球技大会：1日目の試合を勝ち進んだチームが決勝トーナメントに挑みました。前日よりもさらに盛り上がりました。結果は以下の通りです。

バスケットボール	
優勝	医薬品情報学
準優勝	ゲノム創薬学
3位	1年生
バレーボール	
優勝	3年生
準優勝	ゲノム創薬学
3位	薬化学
ソフトボール	
優勝	創薬薬理学
準優勝	薬品製造化学
3位	細胞制御学
フットサル	
優勝	病院（治療薬剤学・薬剤学）
準優勝	ゲノム創薬学①
3位	1年生



## 白衣贈呈式

坂井 俊文（学部1年）

平成29年9月28日、夏のうだるような暑さにも陰りが見え始め、朝夕が過ごしやすくなり、青々とした樹木達が色味を失うのを見て秋の深みを実感するなか、白衣贈呈式を執り行って頂いたことに、一年生を代表して感謝の意を述べさせて頂きたいと思います。

長崎大学薬学部は125年以上の歴史を有し、その長い歴史の中で、ノーベル化学賞を受賞された下村 脩先生をはじめ、多くの長崎大学薬学部の卒業生が日本における医薬品の開発や供給にのみならず、世界的に生命科学

の分野において活躍されていることと存じます。それとともに、多くの卒業生が長薬同窓会に籍を置き、一年生の白衣贈呈のみならず、薬剤師のシンポジウム等、様々な形で私共に御支援を下さるお陰で在校生の基本的教養と高度な専門的知識を修得の大きな手助けとなっていることは言うまでもありません。

贈呈式での薬学部長、長薬同窓会副会長 佐々木先生からの激励のお言葉を胸に留め、感謝の気持ちを忘れることなく日々邁進していきたいと思ひます。



## 旧小野島校舎跡記念碑清掃

鶴丸 雅子（平5）

2017年11月5日（日）に、長薬同窓会の年間行事の一つである旧小野島校舎跡記念碑周辺の清掃を行いました。参加者は柏葉会館前に集合後、車で旧小野島校舎跡記念碑の建つ諫早市小野島町に向かいました。当日は朝から晴れ渡り、無事に清掃作業を行うことができました。

今年は我々の前に記念碑周辺の清掃をしてくださっていた方がいらしたようだと思っていたので、少人数での実施となりました。実際に行ってみると、雑草も少なく比較的きれいな状況で驚きました。雑草やゴミを小一時間かけて取り除き、記念碑を丁寧に拭きあげました。清掃作業を終えた後、参加者全員で記念撮影を行い、例年と同様に諫早市内で食事会を行いました。私は今年初めて参加したのですが、このような清掃活動を同窓会として継続していくことは、大変貴重なことだと思いました。食事会では、皆様の近況などを伺うことができました。

最後に、今年の参加者は次の通りです。山中会長、鶴丸（平5）、川上（平7）、岸川（平10）、事務局2名の計6名です。お忙しい中、参加して頂きありがとうございました。



# クラブOB会だより

## 平成29年度野球部OB会と親睦試合記

### ・OB会

千賀 健司 (学部4年)

平成29年11月18日の土曜日、宝来軒別館にて毎年恒例の野球部OB会が開催されました。今年の参加者は、OB35名と現役部員18名でした。

開会に際しまして、野球部同窓会長の西脇金一郎先生(昭33)からご挨拶をいただき、また、昨年お亡くなりになられた高木 康先生(昭35)への黙祷をささげました。引き続き、中田一成先輩(平9)の乾杯のご発声でOB会がスタートしました。中華料理を口に運び、ビールや紹興酒を飲みながら、OBの方々から、当時の野球部のお話、昔の研究室のお話、就職のお話など今後



に活かされる様々な貴重なお話をうかがいました。会の中盤にかけまして、前チームの九葉連の結果報告が行われました。結果報告では、野球部の健闘をたたえて大きな拍手が送られ、終始和やかなムードで会は進んでいきました。その後、西脇先生から準硬式ボールを寄贈していただき、それに応える



形で、現役部員から、巻頭言と校歌が力強く歌われました。

会の終盤では、大山 要先生(平12)から翌日に行われるOB戦のオーダーが発表されました。そのメンバーはピッチャー：小林雅典(平8)、キャッチャー：目良国寛(平10)、ファースト：古賀健太郎(平20)、セカンド：仲宗根健太(平10)、サード：迎 武紘(平24)、ショート：中田一成(平9)、レフト：牛嶋信人(平15)、センター：高橋毅行(平26)、ライト：楠富伊織(平27)(敬称略)でした。

最後に、目良国寛先輩(平15)に万歳三唱で会を締めくくっていただきました。今年度は新しくご参加いただいた方も多く、会がとても賑やかになったように感じました。お忙しい中、参加していただいた上に部費まで寄付して下さったOBの皆様方、本当にありがとうございます。OBの皆様方のお力添えに感謝の意を表するとともに、より良い方向に野球部を発展させ、伝統を守り続けていきたいと思っております。今年ご参加していただいた皆様も、また今年のご都合により来ていただけなかった皆様も来年もたくさんのご参加をお待ち申し上げます。



平成29年11月18日 於 宝来軒別館



## OB出席者35名

西脇金一郎 (昭33)	菅原 正典 (昭51)	坂田 真人 (平15)	古賀健太郎 (平20)
田原 務 (昭51)	濱田 哲也 (昭54)	桑田 拓也 (平21)	番匠谷研吾 (平22)
佛坂 浩 (昭61)	秋吉 隆治 (平3)	迎 武紘 (平24)	高橋 毅行 (平26)
小林 雅典 (平8)	鶴殿 和恵 (平8)	楠富 伊織 (平27)	沼田 翔 (平28)
中田 一成 (平9)	目良 国寛 (平10)	横関 雅史 (平28)	森井 優樹 (平29)
江嶋 章子 (平10)	楠田もも子 (平10)	加藤 直也 (平29)	中村 浩二 (学6)
仲宗根健太 (平10)	福田 里香 (平10)	嶺井 雄志 (学6)	米澤 敬大 (学6)
田中 博隆 (平11)	大山 要 (平12)	渡邊 公則 (学6)	遠藤 智哉 (学5)
山本 豊 (平13)	牛嶋 信人 (平15)	千賀 健司 (学4)	

## ・親睦戦記

増田 智成 (学部3年)

秋が深まり、冬の訪れが近いことを感じられる素晴らしい晴天の下、長崎大学文教キャンパス野球グラウンドで薬学野球部の親睦試合が行われました。無事に開催することができた喜び、先輩方と野球できる喜びを噛みしめて精一杯全力でプレーしました。

試合は、まず野球部の部長である中嶋幹郎教授 (昭57) による始球式が行われ、先攻OBチーム後攻現役チームでプレイボールとなりました。現役チームの先発は増田 (学3)。初回を3人で抑えて上々の立ち上がり。裏の攻撃では先頭打者の塚本 (学2) がセンターオーバーのツーベースヒットを打ち、4番の堤 (学3) がセンター前へのクリーンヒットを打ち、現役チームが先制します。しかし、3回にOBチームは森井さん (平29) と加藤さん (平29) の二連打などで3点を返し勝ち越しに成功します。このままOBチームが試合を優位に進めると思われた直後の裏の攻撃で、現役チームは田中 (学2)、松本 (学1) の短長打を集めて4点を奪い、逆転します。乱打戦の様相を呈し、展開の読めなくなる今年の親睦試合でしたが、4回からの中盤以降、締まった試合内容となり9-6、現役チーム3点リードで最終回、OBチームの攻撃を迎えます。マウンド上の田原 (学1) を攻め、

1点を返してなお、二死一二塁。抜けたら同点となる打球がライトに揚がります。これをライト鎌田 (学1) が好捕し、ゲームセット。最終スコアは9-7で現役チームの勝ちとなりました。

今年度の親睦試合も乱打戦となりましたが、随所によりプレーが見られ、大いに盛り上がりました。長薬野球部の親睦試合らしさの出た一戦であったと思います。試合後、恒例の食事会となり、先輩方から長薬での思い出や、野球部での思い出など様々な話題で盛り上がり、楽しいひと時を過ごすことができました。

今回、親睦試合に参加して下さった先輩方、参加していただき本当にありがとうございました。また野球をご一緒させていただき日を楽しみに待っています。また残念ながら、今回ご都合の合わなかった先輩方に於かれましても、次回以降ぜひ気兼ねなくご参加ください。現役生にとって先輩方との交流会はまたとない機会です。よい成長の場でもありますので、一同心よりお待ちしております。最後に、試合を準備してくれた野球部現役部員のみみなへの感謝と今後も毎年恒例の親睦試合が開催されることを願って戦記の終わりとさせていただきます。ありがとうございます。



## 第33回薬学硬式庭球部OB会

児玉 祐昌 (平29)

今年は11月18日、19日の二日間で33回目を迎える薬学硬式庭球部OB会を開催いたしました。

初日は松山町の市営庭球場にてOB対現役生の対抗戦を行いました。対抗戦には当部活の創設者である山本先輩(院昭55)をはじめ、松原先輩(昭58)、顧問の西田先生、テニス部発足時にテニスのご指導を頂いた百武さん、石橋先輩(平11)、矢野先輩(平26)、山元先輩(平26)、吉崎先輩(平27)、秋武先輩(平27)、松本先輩(平29)、といった先輩がお忙しい中参加してくださいました。今年の試合結果は去年と同様に、男子はOBが現役生に、女子は現役生がOGに大きく勝ち越すという結果となりました。試合後、現役生は対戦したOBの方々からご助言を頂き、大変良い経験になりました。来年はより良い試合ができるように現役生にはより一層練習に励んでもらいたいと思います。またOBも現役生との試合

で大きな刺激を受け、OB、現役生の両方にとって大変有意義な時間となったのではないのでしょうか。

対抗戦後には懇親会を平野町の宝来軒別館にて行いました。参加者はOB、現役生合わせて70名以上にのぼり大盛会となりました。1年生の自己紹介、新旧幹部のあいさつ、OBの方々のお話と進み、現役生にとってはテニスの話のみならず、普段聞くことのできないようなお仕事の話などを聞くことのできた貴重な時間となったと思います。続く二次会、三次会も多くの方が参加してください、充実した時間となりました。

長崎大学薬学硬式庭球部OB会も今年で33回を迎え、今後さらに発展していくことと思われます。今年は残念ながら出席できなかった先輩方もご都合がつかましたら、来年のOB会に是非ご参加ください。現役一同、心よりお待ち致しております。



平成29年11月18日 於 市営庭球場



平成29年11月18日 於 宝来軒別館



## 平成29年度 薬学バスケットボール部OB戦

栗本 道隆 (学部3年)

10月14日に長崎大学総合体育館にて、薬学バスケットボール部OB対現役生による交流戦が行われました。今年で7回目となるOB戦は、遠方からも多くの先輩方が来てくださり、例年よりも参加人数が多く、大変盛り上がったものとなりました。

先輩方がバスケットボールをされるのは久方ぶりなのだろうか、と初めは思っておりましたが、試合が始まりそのプレイを見ると、動きが鈍っていることなどなく、いつも通りのプレイを見せてくれました。私はプレイヤーのプレイから、その人がどのような人なのか伝わってくると平素より思っているのですが、やはりその通りであるように先輩方のプレイからは先輩方の本当に

素晴らしい人柄が浮き彫りになっているな、と思わざるを得ませんでした。

また現役生は先輩方から学生生活や社会人になってからの生活などについて、とても有意義な話をさせていただき、そして雑談等も交え、どちらも心から楽しんでいるようでした。

上と下のつながりはとても大事なものです。今後ともこういったつながりを絶やさず、OB戦を盛り上げていきたいと思います。今回は残念ながら参加できなかった先輩方もご都合がございましたら次回のOB戦に是非ご参加ください。現役生一同心よりお待ちしております。



平成29年10月14日 於 長崎大学総合体育館

# 庶務報告

岸川 直哉 (平10)

## ○定例理事会

平成29年4月2日(日)13時00分より薬学部第2講義室で開催されました。山中國暉同窓会長(昭43)の挨拶の後、平成28年度事業報告および決算報告、監査報告、庶務報告、平成29年度事業計画案および予算案が討議されました。

続いて、長崎支部ぐびろ会中嶋誠一会长(昭49)よりホテルニュー長崎(長崎市)で開催される平成29年度長薬同窓会定期総会について説明がありました。

## ○平成29年度長薬同窓会定期総会

平成29年6月10日(土)17時00分より、長崎市のホテルニュー長崎にて開催されました。総会では、山中会長による開会挨拶の後、物故者への黙祷および校歌斉唱が行われました。その後、秋吉隆治様(平3)を議長に選出して議事に入り、平成28年度の事業報告ならびに決算報告、それに対する監査報告がなされ、承認を得ました。続いて、平成29年度事業計画案ならびに予算案が示され、こちらも原案どおり承認されました。また、来年度の総会(東京都)について関東支部原 正朝支部長(昭60)より説明がありました。総会後には、佐々木 均先生(昭53)より「日本に広げる長崎の5つの絆」と題したご講演を頂きました。引き続き開催された懇親会では、長薬同窓会特製白衣も披露されるなど和やかで盛大な会となりました。

## ○長薬同窓会関連施設の維持・管理

平成29年8月6日(日)に、グビロが丘防空壕跡慰霊

碑周辺の清掃を同窓会本部役員・同窓生・事務局および現役大学院生・学生で行ないました。また、11月5日(日)に小野島校舎跡地記念碑周辺の清掃を同窓会本部役員・事務局で行ないました。平成29年度から実施の昭和町校舎跡の記念碑の清掃は中嶋幹郎副会長他役員の薬学部教員有志が10月30日(月)に行いました。

## ○寄贈

故野口武彦様(昭11)ご遺族より「古典薬用植物染色図譜」野口武彦著1冊の図書の寄贈がありました。寄贈図書については同窓会室に保管しております。また、下記の通り皆様より計19万円の寄付金の寄贈が寄せられました。返礼品として、校章入りの同窓会特製白衣が贈られました。

昭11	故 野口武彦様	10,000円
昭43	山中みちよ様	10,000円
昭43	山中 國暉様	10,000円
昭46	大西 裕子様	10,000円
昭47	上田 孝子様	10,000円
昭49	山岸 美保様	10,000円
昭49	中嶋 誠一様	10,000円
昭56	都知木 睦様	10,000円
昭57	中嶋 幹郎様	10,000円
昭60	原 正朝様	20,000円
院昭61	中嶋弥穂子様	10,000円
平6	溝口 文子様	10,000円
平7	川上 茂様	10,000円
平7	南 義人様	10,000円
平22	測上 由貴様	20,000円
学1	志船 正弘様	20,000円

## 物 故 者 氏 名

前会報(56号)に発表の後亡くなった方、及び死亡が判明した方(敬称略)

氏 名	卒年次	死亡年月日	氏 名	卒年次	死亡年月日	氏 名	卒年次	死亡年月日
野 口 武 彦	昭11	平28.1.25	貞 方 典	昭26	平29.7.12	武 居 宏	昭36	平29.5.20
副 島 八 郎	昭12	平28.9.28	森 千 竹	昭28	平28.11.1	山 崎 清 昭	昭36	平29.9.23
今 泉 篁	昭19	平28.5.15	鎌塚(築山) 祀子	昭30	平27.8.-	吉 田 研 次	昭37	平29.10.9
坂 本 弘 理	昭22	平29.3.10	西 村 ヒサ子	昭31	平29.7.2	染木(本田) セツ子	昭38	平29.3.22
坂 谷 正 範	昭23	平29.1.5	波多野 壽 子	昭32	平29.10.5	奥 田 正	昭42	平29.3.26
中 島 佐 介	昭25	平27.7.1	細 田 信 子	昭32	平29.11.3	井 上 志 郎	昭43	平29.10.4
松 尾 英 熙	昭25	平27.9.-	城月(中原) 智子	昭33	平28.5.22	北崎(川内) 智子	昭45	平29.3.30
野中(長澤) ナヲミ	昭26	平28.11.9	安西(谷) 美恵子	昭34	平29.10.4	力 武 薫	昭52	平29.3.13
村木(堀部) 淑子	昭26	平29.4.26	酒 井 理	昭36	平29.3.2	計		26名

# 長薬同窓会 寄附のご案内

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、平成28年6月に開催された平成28年度長薬同窓会定期総会において、長薬同窓会への寄附金を受け付けることが承認されました。寄附金につきましては長薬同窓会の運営に活用させていただきます。

つきましては下記の通り寄附金を受け付けさせていただきますので、本会の趣旨にご賛同いただき、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、ご賛同いただける方は、次ページの寄附金申込書・白衣希望確認書をE-mail, FAX, または郵送でお送りくださるようお願い申し上げます。

寄附対象者	長崎大学薬学部同窓生 長崎大学薬学部教職員 本会の趣旨に賛同する個人、法人、団体など
寄附金の単位	個人による寄附金については1口1万円を単位とします。 法人・団体等による寄附金については1口の金額は定めません。
寄附金納入方法	<u>郵便振替</u> 口座番号：01860-3-4125 口座名：長薬同窓会 <u>銀行振込</u> 十八銀行大橋支店 普通預金 口座番号：0517453 口座名：長薬同窓会 恐れ入りますが振込手数料は各自ご負担願います。また、振込人名義には寄附者名と同じ名前でのご入力をお願いします。 <u>現金の場合</u> は申込書を添えて現金書留でお送りいただくか、同窓会事務局へご持参ください。
お礼の品	ご希望の方は1万円の寄附につき長崎大学薬学部の発端となった第五高等学校の校章入り白衣を1着贈呈させていただきます。 サイズは男女別のS,M,LL,XL(3L)となっております。 <u>次ページの白衣希望確認書</u> によりE-mail, FAX, または郵送でお知らせください。 毎年7月末までにご寄附いただいた方へ10月初旬ごろを目安に贈呈させていただきます。 贈呈数の例：10万円の寄附→0～10着まで選択可能

長薬同窓会 会長 山中 國暉

問い合わせ先：長薬同窓会事務局

〒852-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学薬学部柏葉会館内

TEL&FAX：095-844-6383 E-mail：jimukyoku@choyaku.jp

.....年 月 日

長 薬 同 窓 会 会 長 殿

寄附者 郵便番号 .....

住 所 .....

ふりがな .....

氏 名 ..... (卒年 .....) )

(※法人にあつては、法人名及び代表者の職・氏名)

電話番号 .....

(※電話番号は必ず記入して下さい。)

### 寄 附 金 申 込 書

1. 寄附金額 ..... 円

2. 納入予定日 ..... 年 月 日

3. 納入方法 銀行振り込み 郵便振替 現金

(※いずれかに○をお願いします)

### 白 衣 希 望 確 認 書

1. 白衣の希望 あり なし

2. 白衣のサイズと枚数

男性用	枚数	女性用	枚数
S		S	
M		M	
L		L	
LL		LL	
XL		XL	

(※1口1万円につき1枚、最大10枚まで)

※この申込書は長薬同窓会のホームページからダウンロードできます。



## 学 内 記 事

(海外渡航)

種別	職名	氏名	渡航先国	期間	渡航目的
出張	助教	稲嶺 達夫	アメリカ	28.11.16～28.12.6	米国カリフォルニア大学サンディエゴ校医学部のDr.Bernd Schnablと共著論文に関する研究打ち合わせ及び執筆作業を行う
出張	准教授	大山 要	台湾	28.11.21～28.11.26	ISLS2016での発表、関連分野の最新の研究動向を入手する
出張	教授	黒田 直敬	台湾	28.11.21～28.11.26	ISLS2016に出席し、研究発表を行い、最新的话题を討論するとともに情報収集し、今後の研究発展に繋げる
出張	准教授	岸川 直哉	台湾	28.11.21～28.11.26	ISLS2016に出席し、研究報告を行う
出張	教授	植田 弘師	アメリカ	29.1.16～29.1.19	ロサンゼルスで予定されている研究打合せに出席する
出張	准教授	淵上 剛志	アメリカ	29.2.27～29.3.3	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）によるStanford大学Department of RadiologyのGambhir教授との共同研究
出張	准教授	大山 要	アメリカ	29.3.10～29.3.17	第56回SOT（国際毒性学会）での科研費研究課題の成果発表
出張	教授	中嶋 幹郎	アメリカ	29.3.10～29.3.17	第56回SOT（国際毒性学会）での科研費研究課題の成果発表
出張	准教授	淵上 剛志	アメリカ	29.3.27～30.3.27	国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）によるStanford大学Department of RadiologyのGambhir教授との共同研究
出張	助教	春山 貴弘	フランス	29.4.30～29.5.5	PDC（Partnership Dengue Control）workshopに参加した
出張	教授	田中 隆	中国	29.6.5～29.6.10	広西植物研究所での共同研究打ち合わせと資源植物収集。Guilin Layn Natural Ingredients植物抽出物製造工場・研究所視察及び有用植物資源開発についての情報交換及び指導
出張	教授	植田 弘師	アメリカ	29.7.9～29.7.15	シカゴで開かれるThe International Narcotics Research Conferenceに出席、発表および情報収集を行う
出張	准教授	齋藤 義紀	中国	29.7.28～29.8.10	二国間交流事業共同研究：横断山脈地域におけるリグラリア属植物の自然交雑と進化
出張	助教	春山 貴弘	マレーシア	29.8.6～29.8.11	現在国内企業と共同で研究開発をおこなっているウイルス感染症検出キットについて流行地域であるマレーシアに渡航し現地の医師、研究者らと研究打合せ、病院等の視察、競争的予算獲得に向けた体制作りをおこなった。
出張	助教	吉田 さくら	スウェーデン	29.8.9～29.8.20	The 11th International Symposium on Selenium in biology and Medicineに参加・発表
出張	助教	上田 篤志	アメリカ	29.8.19～29.8.26	254th American Chemical Society National Meeting & Expositionに出席、研究発表および情報収集を行う
出張	助教	春山 貴弘	タイ	29.9.4～29.9.9	医薬品・医療機器に関する国際展示会「Medical Fair 2017, Bangkok」への出展
出張	准教授	岸川 直哉	タイ	29.9.11～29.9.21	平成29年度海外留学支援制度（協定派遣）（重点政策枠）の一環として長崎大学からチュラロンコン大学への短期留学に赴く大学院生の引率を行う
出張	教授	石原 淳	フランス	29.9.13～29.9.21	オートアルザス大学ミュールーズ国立高等化学学院における学術講演と討論・学術交流協定校であり、学術交流を深める。日仏医薬精密化学会議（FJS-2017）にて成果発表・当該研究分野の最新情報を収集
出張	助教	稲嶺 達夫	アメリカ	29.10.18～29.10.22	フロリダ州オーランドで行われる米国人類遺伝学会2017年総会に参加する

## (異 動)

異動年月日	異動内容	職	氏 名	所属研究室	備 考
H29.3.1	採 用	助 教	山 本 耕 介	医薬品合成化学	
H29.3.31	定年退職	教 授	甲 斐 雅 亮	機能性分子化学	
H29.3.31	定年退職	教 授	小 林 信 之	感染分子薬学	
H29.3.31	辞 職	准教授	梶 島 力	機能性分子化学	辞職後は長崎国際大学教授に就任
H29.3.31	辞 職	准教授	出 口 雄 一	創 薬 薬 理 学	任期満了による。 辞職後は塩野義製薬(株)へ
H29.3.31	辞 職	准教授	手 嶋 無 限	実 践 薬 学	任期満了による。 辞職後はアイビー薬局へ
H29.4.1	昇 任	教 授	石 原 淳	薬品製造化学	
H29.4.1	配 置 換	准教授	米 澤 朋	細 胞 制 御 学	

## (学位授与)

学位記番号	学位の種類	氏 名	学位授与年月日	学位記番号	学位の種類	氏 名	学位授与年月日
甲第957号	博士(薬 学)	アラキ チヅル 荒木 千鶴	平成29年3月21日	甲第970号	博士(薬科学)	カワク ボ タカシ 川久保 昂	平成29年3月21日
甲第965号	博士(薬科学)	サダトミ ダイチ 貞富 大地	平成29年3月21日	甲第971号	博士(薬科学)	ツジタ タカアキ 辻田 高明	平成29年3月21日
甲第966号	博士(薬科学)	ムカエ タケヒロ 迎 武紘	平成29年3月21日	甲第972号	博士(薬科学)	カワサキ マサオ 川崎 仁央	平成29年3月21日
甲第967号	博士(薬科学)	アスマ サイドアリヤッセン Asmaa Said Ali Yassen	平成29年3月21日	甲第996号	博士(医 学)	CHARYASRIWONG SIRIWAN	平成29年9月20日
甲第968号	博士(薬科学)	コミネ ケイタ 小嶺 敬太	平成29年3月21日	甲第997号	博士(医 学)	MAKAU JULIAN NZEMBI	平成29年9月20日
甲第969号	博士(薬科学)	ヨシムラ ヒカル 吉村 光	平成29年3月21日	甲第998号	博士(医 学)	ラティカ ラフマサリ RATIKA RAHMASARI	平成29年9月20日

# 長 薬 同 窓 会 役 員

(平成29年10月)

## 本部役員

会 長	山 中 國 暉	昭和43年	あおかた調剤薬局
副 会 長	中 嶋 誠 一	昭和49年	あずさ薬局鮑の浦店
〃	佐々木 均	昭和53年	長大病院教授 薬剤部長
〃	七 種 均	昭和56年	アクア薬局本店
〃	中 嶋 幹 郎	昭和57年	薬学部教授
〃	藤 島 さとみ	平成3年	つばさ薬局
監 査	原 田 均	昭和51年	道ノ尾病院
庶務幹事	岸 川 直 哉	平成10年	薬学部准教授
会計幹事	松 尾 洋 介	平成15年	薬学部助教
編集幹事	川 上 茂	平成7年	薬学部教授
幹 事	鶴 丸 雅 子	平成5年	長大病院薬剤部
〃	稲 嶺 達 夫	平成18年	薬学部助教
〃	宮 元 敬 天	平成20年	薬学部助教

## 学年理事

昭22年	田崎 和之	昭46年	大西 裕子	昭58年	宮崎 幹雄	平7年	南 義人	平19年	細井 雄仁
昭23年	中原 潜	〃 製	田中 秀二	〃 製	松本 秀樹	〃	土井 健志	〃	向江 俊彦
昭24年	麻生 忠介	昭47年	上田 孝子	昭59年	金子 富美	平8年	山口 拓	平20年	筒井 翔一
昭25年	塚崎 邦彦	〃 製	松本 逸郎	〃 製	中村 忠博	〃	駒田 由美	〃	向江 桂
昭26年	峰 唯信	昭48年	山内 茂樹	昭60年	塩田 英雄	平9年	平良 文亨	平21年	桑田 拓也
昭28年		〃 製	井手 清	〃 製	山口 綾子	〃	八木 洋一	〃	原 陽介
昭29年	野見山季治	昭49年	金崎 勝代	昭61年	本多 隆	平10年	岸川 直哉	平22年	測上 由貴
昭30年	帆士 辰雄	〃 製	馬場 満輝	〃 製	谷口 智子	〃	八幡 弘樹	平23年	中本 義人
昭31年	桑山 晶子	昭50年	橋間真理子	昭62年	森川 隆	平11年	水野 和美	平24年	大塚 早紀
昭32年	長田 雅子	〃 製	松田 米人	〃 製	本多 雅幸	〃	藤田和歌子	〃 科	只熊 郁也
昭33年	西脇金一郎	昭51年	中村 珠江	昭63年	小田 賢一	平12年	大山 要	平25年	黄 智剛
昭34年	松尾 幸子	〃 製	原田 均	〃 製	神山 朝光	〃	松永 隼人	〃 科	原口 綾奈
昭35年	木下 敏夫	昭52年	田中 知子	平1年	嶋田 美樹	平13年	兒玉 幸修	平26年	山西 陽香
昭36年	武田 成子	〃 製	池崎 隆司	〃 製	白川奈奈子	〃	萩森 政頼	〃 科	石川 夏海
昭37年	青木 昇	昭53年	森田 桂子	平2年	山本 稔	平14年	小西 宏規	平27年	濱崎 久司
昭38年	岡 邦彦	〃 製	町田 毅	〃	富田 守	〃	河内 亮	〃 科	菅 忠明
昭39年	鈴木 隆治	昭54年	大野修一郎	平3年	前田 理恵	平15年	原田 周平	平28年	林田 颯志
昭40年	松村 祐子	〃 製	濱田 哲也	〃	北原 隆志	〃	松尾 洋介	〃 科	松本 啓秀
昭41年	伊豫屋偉夫	昭55年	七條 和子	平4年	椛島 力	平16年	牟田 響	平29年	川 有佳
昭42年	井上 一顕	〃 製	大田 佳史	〃	藤田 靖之	〃	大神 正次	〃 科	加藤 直也
昭43年		昭56年	立花 寿子	平5年	森本 仁	平17年	柴田 豪		
昭44年	中村 和子	〃 製	山口 正広	〃	田平ゆかり	〃	黒崎 友亮		
昭45年	中村 博	昭57年	中嶋 幹郎	平6年	岩永 真理	平18年	永井 潤		
		〃 製	高良 真也	〃	金村 隆則	〃	稲嶺 達夫		

院 1～院 5 (昭和42年～昭和46年) 富永 義則 (昭和46年)  
 院 6～院10 (昭和47年～昭和51年) 高橋 正克 (昭和49年)  
 院11～院15 (昭和52年～昭和56年) 大木 豊 (昭和54年)  
 院16～院20 (昭和57年～昭和61年) 中嶋 幹郎 (昭和59年)  
 院21～院25 (昭和62年～平成3年) 本多 雅幸 (平成1年)  
 院26～院30 (平成4年～平成8年) 富田 守 (平成4年)  
 院31～院35 (平成9年～平成13年) 原田 祐樹 (平成9年)  
 院36～院43 (平成14年～平成18年) 手嶋 無限 (平成15年)  
 院44～院53 (平成19年～平成23年) 吉田さくら (平成21年)  
 院54～院63 (平成24年～平成28年) 門脇 彩香 (平成24年)

## 長薬同窓会支部一覧

(平成28年8月)

長崎支部ぐびろ会	会 長	中 嶋 誠 一 (昭 49)
長 崎 県 北 支 部	支部長	相 川 康 博 (昭 48)
島 原 支 部	支部長	
長 崎 県 央 支 部	支部長	田 中 秀 二 (昭 46)
佐 賀 支 部 若 楠 会	会 長	藤 戸 博 (院昭52)
福 岡 支 部 浦 陵 会	会 長	池 田 光 政 (昭 57)
北 九 州 支 部	支部長	増 田 和 久 (昭 50)
大 分 支 部	支部長	石 橋 眞 (昭 49)
宮 崎 支 部 日 向 浦 陵 会	会 長	田 中 重 雄 (昭 45)
鹿 児 島 支 部	支部長	森 昭 雄 (昭 28)
熊 本 支 部	支部長	山 本 喜 一 郎 (院昭55)
山 口 支 部 抜 天 会	会 長	今 村 明 久 (昭 46)
広 島 支 部	支部長	青 野 拓 郎 (昭 52)
岡 山 支 部	支部長	歳 森 三 千 代 (昭 49)
山 陰 支 部	支部長	橋 本 覚 (昭 52)
四 国 支 部	支部長	井 上 智 喜 (昭 54)
近 畿 支 部	支部長	梶 野 繁 (昭 42)
東 海 支 部	支部長	
関 東 支 部	支部長	原 正 朝 (昭 60)
沖 縄 支 部	支部長	
北 海 道 支 部	支部長	



平成28年度長薬同窓会収支決算報告

平成29年3月31日

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	5,911,855	通 信 費	1,207,923
会 費 (延2149名)	6,449,000	総会案内・名簿・会報発送料	727,890
入 会 金 等	1,028,000	振替加入者負担金	202,568
預 金 利 息	126	事務連絡郵便料	217,704
名 簿 広 告 料	659,676	電 報 電 話 料	59,761
寄 附 金	50,000	印 刷 費	2,122,022
雑 収 入	24,746	名簿・会報他印刷費	2,122,022
		会 合 費	58,900
		理事会その他会合費	58,900
		旅 費	724,360
		会 長 出 張 費	128,520
		役 員 そ の 他 出 張 費	595,840
		補 助 費	1,396,400
		総会および支部会補助金	600,000
		そ の 他 補 助 金	796,400
		維 持 管 理 費	159,112
		原 爆 慰 霊 碑	128,412
		小 野 島 記 念 碑	30,700
		事 務 費	97,056
		事 務 用 品 費	36,110
		電 算 機 費 用	60,946
		人 件 費	2,935,095
		雇 員 給 料 手 当	1,030,000
		雇 員 交 通 費	36,000
		臨 時 雇 員 手 当	1,869,095
		雑 費	364,514
		会 員 見 舞 弔 慰 金	89,904
		そ の 他	274,610
		次 年 度 繰 越 金	5,058,021
合 計	14,123,403	合 計	14,123,403

会計幹事、松尾洋介氏立会のもと、平成28年度に関する帳簿及び預金通帳を詳細に監査した結果、記帳及び計算は妥当かつ正確なものであり、上記の通り相違ありません。

平成29年5月15日

監 査 原 田 均 

平成29年度長薬同窓会予算

平成29年4月1日

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前 年 度 繰 越 金	5,058,021	通 信 費	1,550,000
会 費 (延2300名)	6,900,000	総会案内・会報発送料	850,000
入会金等(6年制41名, 4年制41名)	1,148,000	振替加入者負担金	300,000
預 金 利 息	200	事務連絡郵便料	300,000
雑 収 入	50,000	電 報 電 話 料	100,000
		印 刷 費	1,300,000
		会 報 他 印 刷 費	1,300,000
		会 合 費	80,000
		理 事 会 そ の 他 会 合 費	80,000
		旅 費	700,000
		会 長 出 張 費	300,000
		役 員 そ の 他 出 張 費	400,000
		補 助 費	1,540,000
		総会および支部会補助金	700,000
		そ の 他 補 助 金	840,000
		維 持 管 理 費	240,000
		原 爆 慰 霊 碑	200,000
		小 野 島 記 念 碑	40,000
		事 務 費	350,000
		事 務 用 品 費	50,000
		電 算 機 費 用	300,000
		人 件 費	3,266,000
		雇 員 給 料 手 当	1,030,000
		雇 員 交 通 費	36,000
		臨 時 雇 員 手 当	2,200,000
		雑 費	650,000
		会 員 見 舞 弔 慰 金	200,000
		そ の 他	450,000
		予 備 費	3,480,221
合 計	13,156,221	合 計	13,156,221

## 同窓会事務局だより

長崎市の旧佐古小学校跡地（仁田佐古小学校建設予定地）に見つかった小島養生所跡に、併設されていた「分析究理所」の遺構も最近見つかり、長崎大学薬学部の起源が遡るかもしれないとの話を伺い、驚いています。

さらに今年はV・ファーレン長崎がJ1に昇格し、出島に表門橋が完成して昔の出島の様子が復元されました。

また、外国に在住されている同窓生からはうれしいお便りがありました。「海外で薬局を開局して30年になりますが、健康なうちに老年期を迎えようと、閉局して環境の良いところへ引っ越しました。今振り返ると私の人生をバックアップしてくれたのは、“薬局”ですが、“長薬”があつて可能な事で、長薬に敬意を表します。」（一部省略）



さて、今年も皆様のご協力のお蔭で無事に会報を発送できました。今後ともよろしくお願ひいたします。なお、住所変更等のご連絡も何卒よろしくお願ひします。

武次 郁子 記

### 編集後記

長薬同窓会会員の皆様にはお元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。平成29年版同窓会会報をお届けします。昨年度より会報の編集に携わらせていただき、本年度は本格的に担当させていただきました。多くの皆様からクラス会および近況に関して記事をいただき、皆様へお届けできたことをうれしく思います。また、昨年度より長薬同窓会への寄附規定が決定され、会報などご報告させていただいておりましたが、多くの皆様からご寄附をいただくことができました。寄附金については長薬同窓会の運営に活用させていただきます。また、本会報の作成中に長崎大学薬学部の起源ともされている「分析究理所」の遺構が発見されました。長薬同窓会としても遺構の調査や保存・活用に向けて活動を行っております。今後も皆様には同窓会活動への更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、会員の皆様の一層のご健勝とご活躍を心より祈念致します。 宮元 敬天 記

平成29年12月22日印刷  
平成29年12月22日発行

### 長薬同窓会報

編集 川上 茂, 宮元敬天

発行 長薬同窓会

(郵便番号852-8131)

所在地 長崎市文教町1-14 長崎大学薬学部内

TEL 095-844-6383 (直通)

095-819-2471 (ダイヤルイン)

FAX 095-844-6383

メールアドレス jimukyoku@choyaku.jp

(郵便番号870-0913)

印刷所 大分市松原町2丁目1-6

小野高速印刷株式会社

TEL 0120-58-3002



長崎大学薬学部 長薬同窓会